

## ●当院の臨床研修の特色

福島県内すべての基幹型臨床研修病院（18病院）を始め、県内外の110の協力病院・施設による病院群の連携により、①EBMに基づいた基本に忠実な研修、②最先端医療に携わる研修、③common diseaseを経験できる研修等を自由にプランニングできます。救命救急センター及びドクターヘリによる充実した救急科研修、地域・家庭医療学講座による第一線のプライマリ・ケア研修を受けることも可能です。

各プログラムともすべての診療科から自由に1ヶ月単位で選択することができ、また原則2ヶ月前までの申し出があれば、研修計画を随時変更することも可能となっており、皆様の多様なニーズにお応えできます。

平成25年度からは長崎大学、平成26年度からは広島大学とも協定を結んでいます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：福島県立医科大学附属病院卒後臨床研修プログラムA：ベーシックプログラム／大谷 晃司  
●研修スケジュール 募集人数 21名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科			選択必修	選択科	
2年次	精神科	地域医療	選択科									

●プログラム名／プログラム責任者：福島県立医科大学附属病院卒後臨床研修プログラムB：1年目福島医大・2年目協力病院プログラム／川崎 幸彦  
●研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科			選択必修	選択科	
2年次	協力病院で1年間選択必修科目中心の研修。カリキュラムは協力病院のプログラムによる。(地域医療・選択必修を含む)											

●プログラム名／プログラム責任者：福島県立医科大学附属病院卒後臨床研修プログラムC：1年目協力病院・2年目福島医大プログラム／鈴木 均  
●研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	協力病院で1年間必修科目中心の研修。カリキュラムは協力病院のプログラムによる。											
2年次	地域医療	精神科	医大で選択科目中心の研修。(最低8ヶ月医大で研修を行えば、残りは外病院でも研修可能)									

●プログラム名／プログラム責任者：福島県立医科大学附属病院卒後臨床研修プログラムD：小児科・産婦人科・周産期プログラム／川崎 幸彦  
●研修スケジュール 募集人数 4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	小児科または産科婦人科						内科			救急科		
2年次	地域医療	精神科	選択必修									

## ●協力型病院名（科目）

太田西ノ内病院（内科、外科、脳神経外科、産科婦人科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、救急科等）	竹田総合病院（産婦人科、小児科、眼科、精神科等）
星総合病院（内科、外科、小児科、麻酔科、脳神経外科、整形外科、耳鼻咽喉科等）	済生会八幡総合病院（福岡県）（内科、外科、婦人科、小児科、麻酔科等）
長崎大学病院（感染症内科、腎臓・呼吸器内科、放射線科、国際ヒパクシャ医療センター）	広島大学病院（総合内科、呼吸器内科、小児科、麻酔科等）

他 59 施設

## ●協力施設

只見町国民健康保険朝日診療所	医療法人 掛田中央内科	福島県労働保健センター
保原中央クリニック	福島県赤十字血液センター	ふれあいクリニックさくらみず
はなわ訪問介護ステーション	喜多方市地域・家庭医療センター	

他 37 施設

## ■教育体制

- ・4月はじめのオリエンテーションの内容は、現役研修医が中心となって企画しており、毎年改善が行われています。
- ・各診療科の医師が講義を行う「ステップ・アップ・セミナー」を毎週開催し、プライマリ・ケアの知識及び手技について、幅広く習得することができます。
- ・診療サポートツール「DynaMed」、臨床医学情報ツール「UpToDate」も導入しています。
- ・「福島アドバンスド・コース（FACE）」は、県内外から申し込みがあり、毎回定員オーバーとなる研修医向けの人気のセミナーです。詳しくはHPをご覧ください。[http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/yoki\\_ishi\\_project.html](http://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/yoki_ishi_project.html)

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院の臨床研修は、しっかりとした指導体制や研修環境はもとより、自己研鑽活動の支援(年間20万円までの研修費助成金)やステップアップセミナーなど、意欲のある方がどんどん勉強できる環境が整っております。当院の研修プログラムは、大学病院のメリットを活かしつつ、協力病院での研修も柔軟に行える、いわば好いとこどりのできる内容となっております。また、研修医1名につきメンター(相談員)2名体制で、皆さんの臨床研修をサポートいたします。ぜひ一度、病院見学にお越しください。お待ちしております。

### ●先輩研修医から一言

皆さんが研修先を選ぶときに何を決め手にすればいいか迷うと思います。私自身当院を選んだ理由としては、県内外多数の協力病院で研修が可能であり、また研修する場所・時期・科を全て自分自身で組むことができます。私自身当院以外の様々な協力病院にて目的に合った研修を送ることができました。一人一人違う、自分が望んだ研修を送ることができる研修プログラムにより、将来進む科を決めている人、迷っている人のどちらでも満足できる研修を送ることができると思います。ぜひ一度、見学に来てみてください。研修先を決めるヒントが見つかるかもしれません。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。

## ■病院理念

(基本理念)

「当病院は、健康を支える医療・心温まる医療を目指して県民と共に歩みます。」

(臨床研修病院の理念)

1. 医師としての基本的な要素を身につける。
2. 初期診療に対応可能な能力を身につける。
3. 将来の専門性につながる臨床研修を行う。

## ■診療内容

### ●診療の特徴・実績

- ・平成19年度に東北で初めてドクターヘリを導入し、本県の医療を支えています。
- ・平成25年度から手術支援ロボット“ダヴィンチsi”を導入しています。
- ・平成27年度からは、新たに腫瘍内科、小児腫瘍内科、放射線治療科、リハビリテーション科での臨床研修も可能となります。

### ●診療科・医師数

診療科名	循環・血内	病内、リウマチ、膠原病内	腎・高血圧、糖・内分泌代謝内	神経内	呼吸器内	呼吸器、胆肝系、移植外、小外	消化、乳腺、内分泌・甲狀腺外	心外	脳外	整外	形外	産・婦	小児科 小児腫瘍科	眼	皮膚
医師数	30	27	26	16	12	38	26	11	12	28	12	19	31	31	15
指導医数	25	19	20	11	12	18	21	9	7	16	8	10	21	12	5

診療科名	泌尿器副腎 内分泌外	耳鼻咽喉	心身医療	放射線 放射線治療	麻酔	救急	病理	感染・検査	総合周産期	輸血・移植	地域・家庭	内視鏡診療	リハビリテーション	放射線 健康管理	腫瘍内	合計
医師数	13	22	25	16	16	14	8	7	8	5	4	5	3	4	4	488
指導医数	10	11	7	11	12	7	5	6	8	4	4	5	3	4	4	315

- 許可病床数：778床（一般 713床、結核 14床、精神 49床、感染症 2床）
- 入院患者数（1日平均）：609人
- 外来患者数（1日平均）：1,389人
- 平均在院日数（一般病床）：14.4日
- 分娩件数：454件
- 救急医療の提供実績：救急科は独立した部門として県内の高次救急医療を扱っており、更には救命救急センターの開設や、東北初のドクターヘリの整備により、一次救急から三次救急まで幅広く救急患者を受け入れています。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：12,067件
- 救急車取扱件数：2,053件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】380,000円（月額、手当・税込）、4,760,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】380,000円（月額、手当・税込）、4,760,000円（年額、賞与・手当・税込）

- 研修医に対する各種保険等の適用：公立学校共済組合（健康保険・年金）、地方公務員災害補償法適用、雇用保険加入
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7:30～17:30 ※24時間保育可、病児病後児保育所も有り）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：45名
- 応募資格：平成30年医師国家試験合格見込み者、又は医師国家試験合格者で研修歴のない者
- 応募必要書類：(1)選考試験申込書 (2)履歴書 (3)卒業(見込)証明書 (4)成績証明書
- 試験内容：(1)面接 (2)書類審査
- 申込締切日：第1回締切：平成29年7月4日(火)、第2回締切：平成29年8月18日(金)
- 試験実施日：第1回試験日：平成29年7月18日(火)・19日(水)、第2回試験日：平成29年9月1日(金)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 17名 うち女性 5名  
2年次 7名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、自治医科大学、日本大学、東京女子医科大学、岩手医科大学、慶応義塾大学
- 当直回数：4回
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り(全診療科で研修可能)

## ■申し込み、問い合わせ先

公立大学法人 福島県立医科大学附属病院  
医療人育成・支援センター

960-1295 福島県福島市光が丘1番地  
TEL 024-547-1047 FAX 024-547-1715  
E-mail [cmecd@fmu.ac.jp](mailto:cmecd@fmu.ac.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

1. 研修医主体の研修：とにかく多くの患者と多くの時間を触れ合うことを重視し、入院患者の受持ち、診断・検査から治療方針の選択（外来診療等を含）、主治医としてより実践的な臨床の場での研修を行う。
2. 救急医療：福島県東北地方の二次救急指定病院として屈指の救急患者を受入れており、新生児から高齢者、軽症・交通外傷からCPA等、市中病院でこそ経験可能なcommon diseaseの豊富な症例を2年間通年で経験することで、救急疾患に対する臨床能力とコンサルテーション能力を身につけることができる。
3. 充実した教育行事：研修医の教育行事が盛りだくさんで共通教育行事への参加は最優先で実施される。その中でも研修にメリハリをつけ研修医各自の学習時間も十分に確保している。

## ●プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者：基本プログラム／石橋 敏幸
- 研修スケジュール 募集人数6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科	麻酔科	整形外科	外科	選択外科	
2年次	小児科	産婦人科	精神科	地域医療	自由選択科							

- プログラム名／プログラム責任者：総合診療重視プログラム／石橋 敏幸
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急科	麻酔科	整形外科	外科	外科	
2年次	小児科	産婦人科	救急科	地域医療	精神科	自由選択科						

## ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（救急科）	一般財団法人大原記念財団 大原医療センター（循環器内科、腎臓内科、心臓血管外科、脳神経外科）
一般財団法人大原記念財団 清水病院（精神科）	福島赤十字病院（糖尿病内科）

## ●協力施設

浪江町国民健康保険津島診療所	介護老人保健施設「聖・オリーブの郷」	福島県赤十字血液センター
大原健康クリニック	大原訪問看護ステーション	福島県立南会津病院
福島県立宮下病院	只見町国保朝日診療所	保原中央クリニック

## ●教育体制

研修医に係る教育行事は下記のとおりである。  
 ①レジデントカンファレンス（1回/週）、②レジデントレクチャー（1回/週）、③画像診断カンファレンス（1回/週）、④院長研修（1回/月）、⑤救急症例検討会・ケーススタディー（1回/月）、⑥研修医CPC（1回/隔月）、⑦英文抄読会・EBMジャーナルクラブ（2回/月）  
 ⑧病理診断勉強会（CPCの都度）、⑨医局会&合同勉強会（1回/月）、⑩各研修科カンファレンス（1～2回/週）

研修医の採用時オリエンテーションは4月に1週間実施する。

## ●メッセージ

### ●指導医から一言

当院における初期研修の特徴は、研修医本位であることです。研修の根本は、「与えられるものではなく求めるものである」という理念のもと、研修医の意見を取り入れ、救急症例検討会、レジデントレクチャー、CPCなどの研修内容を進化させ、担当事務員を配置したり研修医室を設置したりと研修環境の良化にも配慮しています。特に、厚労省が求めている「プライマリ・ケアの基本的診療能力を身につける」ための救急研修では、病院全体で研修医をバックアップする体制を構築し充実を図っています。

初期臨床研修では、医学的知識と技術はもとより医療人として必要な資質を養うことが求められます。当院での研修を通して、困難な状況にも毅然として立ち向かう医師に育ってほしいものです。

### ●先輩研修医から一言

私が大原総合病院を初期研修病院に選んだ理由の一つに、研修医教育が非常に充実していることがあります。毎週1回のレジデントレクチャー、画像診断カンファレンス、毎月1回の救急症例検討会、隔月開催のCPCをはじめ、有名講師の先生方による勉強会など研修医が学ぶ機会が充実しています。

大原総合病院の初期臨床研修では、前述したような知識を得る機会、実際に手技を行う機会が多数あるため、研修医としてステップアップできる環境が整っています。

また、病院の雰囲気も非常に良く、多職種のスタッフが抜群のチームワークで医療を行っています。さらに、指導医の先生方に診療科の垣根なく熱心に指導していただけるのも大原総合病院の魅力の1つです。

皆さんもぜひ1度、病院見学に来てみてください。

## ●病院理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために、常に一步先に行く医療を探究し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

## ●診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は、明治24年創設以来1世紀以上の伝統と歴史を誇り、福島市を中心とした人口約30万人を診療圏とする急性期病院である。地域に密着しつつ高度専門医療を提供し、地域の中核的役割を担っており、救急医療についても積極的に取り組み地域屈指の救急患者を受入れている。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	神経内科	胃腸科	小児科	外科	整形外科	泌尿器科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	病理診断科	合計
医師数	8	2	6	6	6	5	3	3	2	4	3	4	1	53
指導医数	6	2	5	4	4	3	2	3	1	2	2	4	1	39

- 許可病床数：429床（一般429床）
- 入院患者数（1日平均）：241.7人
- 外来患者数（1日平均）：538.6人
- 平均在院日数（一般病床）：11.4日
- 分娩件数：183件
- 救急医療の提供実績：当院は、地域二次救急指定病院として365日、24時間体制で救急患者の受入れを積極的に行っており、軽症からCPA、交通外傷、新生児から老人と市中病院でこそ可能なcommon diseaseな救急疾患を経験できる。宿日直研修を2年間実施することにより救急疾患に対応できる臨床能力を身につけることができる。
- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：6,175件
- 救急車取扱件数：2,282件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ●処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】516,666円（月額、手当・税込）、6,200,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】608,333円（月額、手当・税込）、7,200,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険、医師賠償保険（個人での加入も推奨します）
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し（住宅手当有り）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7:30～18:00）※随時20:00まで延長  
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ●研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：8名
- 応募資格：医師国家試験合格者および見込み者
- 応募必要書類：(1)臨床研修申請書（別紙様式1-1）、(2)履歴書（別紙様式1-2）、(3)成績証明書、(4)卒業見込み証明書
- 試験内容：書類選考・面接
- 申込締切日：平成29年7月末日（但し各試験日の1週間前まで応募書類を受け付けます）  
※詳細は決定次第当院のホームページに掲載
- 試験実施日：平成29年8月上旬～9月上旬に複数回 ※詳細は決定次第当院のホームページに掲載

## ●現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 8名 うち女性 4名  
2年次 6名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：山形大学、岩手医科大学、福島県立医科大学、新潟大学、東邦大学、群馬大学
- 当直回数：4回（1年次は副宿日直、2年次は院内オンコール体制）
- 研修終了後の進路：一般財団法人大原記念財団 大原総合病院・福島県立医科大学・新潟大学・東京医科大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（詳細についてはお問い合わせください）

## ●申し込み、問い合わせ先

一般財団法人大原記念財団

経営本部総務部総務課（佐藤・菅野）

960-8611 福島県福島市大町6番11号

TEL 024-526-0338（直通）FAX 024-526-0342

E-mail [rinken@ohara-hp.or.jp](mailto:rinken@ohara-hp.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

臨床研修の目標は、医師としての責任感と使命感とを養い、人格を涵養し、将来の専門性にかかわらず、医学・医療の社会的ニーズを認識しつつ、日常診療で頻りに遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることである。

当院の特徴は多数の医師が、出身大学や診療科の壁を取り払って、患者中心の医療を行っていることである。救命救急センターを含めた多数の専門分野から成り、充実した機器と設備を駆使して高度の先進医療を行っている。第一線医療にチャレンジしたい研修医の方々に最適の研修病院である。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：太田西ノ内病院医師臨床研修プログラム／井上 実  
 ●研修スケジュール 募集人数 15 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急			外科			選択科
2年次	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択科								

## ●協力型病院名（科目）

一般財団法人太田総合病院附属太田熱海病院（神経内科、地域医療）	公立大学法人福島県立医科大学附属病院（皮膚科、精神科）
公益財団法人金森和心会針生ヶ丘病院（精神科）	

## ●協力施設

福島県赤十字血液センター	天田内科クリニック	医療法人やすらぎ会いがらし内科外科クリニック
医療法人池田内科医院	医療法人健全会おおがクリニック	医療法人仁寿会菊池医院
医療法人桜井診療所	医療法人てちがわ内科	他 14 施設

## ■教育体制

- (1) 2ヶ月に1回の症例発表会（各科ローテート中に経験した興味ある症例を発表する）
- (2) 週1回のベッドサイドレクチャー（系統講義）
- (3) 外部講師
  - 研修医・指導医のための研修会
  - 抗菌薬使用事例検討会（農林中央金庫人事部健康管理室長・専属産業医 北原光夫先生）
  - 胸部単純X線写真読影研修会（国立がんセンター東病院放射線診断科 楠本昌彦先生）

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院には意欲のある研修医が全国から集まってくれています。そして指導医はもちろんコメディカルも皆熱意をもって研修医を指導してくれます。必修、選択のローテート以外に、ほぼ毎週行われるそれぞれの分野の指導医によるベッドサイドレクチャーを初めとし、実際に経験した症例をまとめて発表する症例発表会、著名な外部講師による指導等により、医師として備えるべきスキルが自然と身につきます。また内科当直では内科系上級医のもと、屋根瓦方式で1年目と2年目の研修医がペアで刺激しあうことにより自然に実力が養われます。研修医が自主的に始めた勉強会も長年継続され、当院で開催されるグラム染色セミナーをまとめたグラム染色アトラスも好評です。ぜひ当院で研修してみてください。

### ●先輩研修医から一言

当院での初期研修について簡単にご紹介します。当院での研修の最大の魅力は、症例の豊富さと全国から集まった同期と研修を共にすることが出来る事だと思います。当院は県内最大の病床数を誇り、3次救急を担う基幹病院として福島県の医療を担っています。診療科も多く、多くの指導医の先生方のもとで他領域にわたりまんべんなく実力を磨いていくことが出来ます。研修自体は忙しいことが多いと思います。そのため、やる気に満ち溢れた研修医が集まり活気に満ち溢れています。出身大学に大きな偏りがないことも大きな特徴といえるかもしれません。常に刺激を受ける事の出来る最高の環境です。文章では、伝えきれない事はたくさんあります。まずは一度見学に来てみて下さい。感じ取ってもらえる雰囲気があると思います。お待ちしております。

## ■病院理念

「生命の尊厳・平等な人間愛」

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は、当財団法人が附属病院間のネットワークシステムによって推進している地域における予防・診断・治療・リハビリテーションから健康増進までを含めた包括医療供給体制の中で、急性期疾患と高度医療を担当し、救命救急センターを有する高次機能総合病院としてその一翼を担っている。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	血内	腎内	糖	外	小	産	精	呼	消	脳神内	循	心内	リマ	脳外	心外
医師数	4	5	3	6	16	11	5	0	4	5	2	8	1	2	4	3
指導医数	2	2	2	5	6	4	2	0	2	3	1	4	1	2	4	2

診療科名	呼外	小外	形	皮	泌	整	耳鼻	眼	放	麻	病理	合計
医師数	2	2	5	—	4	11	4	3	3	11	1	125
指導医数	0	2	1	—	2	2	2	1	2	2	1	57

- 許可病床数：1,086床（一般 1036 床、精神 50 床）
- 入院患者数（1日平均）：680.2人
- 外来患者数（1日平均）：1,479.5人
- 平均在院日数（一般病床）：15日
- 分娩件数：611件
- 救急医療の提供実績：当院の救命救急センターは、集中治療室10床、救急治療室30床を有し、県中・県南地区の3次救急医療機関として、24時間体制で対応している。また、夜間・休日に関しては毎日医師10～11名、薬剤師・検査技師などのコメディカルスタッフとで救急患者さんの治療にあたっている。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：21,958件
- 救急車取扱件数：5,164件
- 救急医療を行う診療科：内科系、外科系、小児科、その他（標榜科全科）

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】465,500円（月額、手当・税込）、5,586,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】487,000円（月額、手当・税込）、5,844,000円（年額、賞与・手当・税込）
  - 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
  - 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
  - 宿舍の有無：有り（借上げ住宅 住宅手当 22,000円）
  - 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（勤務形態に合わせ、受入時間を考慮しており、休日・夜間保育にも対応しております。）
- ※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：15名
- 応募資格：平成30年3月医師免許取得見込みの者
- 応募必要書類：(1) マッチングシステム (2) 履歴書（当院書式のもの）(3) 大学卒業（見込み）証明書 (4) 成績証明書
- 試験内容：(1) マッチングシステム (2) 書類審査 (3) 小論文 (4) 面接
- 申込締切日：平成29年7月中旬（予定）
- 試験実施日：平成29年8月に2回開催（予定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 10名 うち女性 2名  
 2年次 13名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、岩手医科大学、獨協医科大学、日本医科大学、産業医科大学、山形大学、大分大学、帝京大学、東京医科大学、日本大学
- 当直回数：2～4回（1年次は5月より当直を開始）
- 研修終了後の進路：太田西ノ内病院、福島県立医科大学、新潟大学、獨協医科大学、東京医科歯科大学、日本医科大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、糖尿病内科、腎臓内科、血液内科、呼吸器内科、消化器内科、神経内科、循環器内科、リウマチ科、放射線科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科、※神経内科は太田熱海病院）

## ■申し込み、問い合わせ先

財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院  
 臨床研修室

963-8558 福島県郡山市西ノ内2丁目5番20号  
 TEL 024-925-1188（代表）FAX 024-925-8667  
 E-mail [kensyui@ohta-hp.or.jp](mailto:kensyui@ohta-hp.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院の臨床研修目標として、『プライマリケアを中心に医師として必要な診断能力を幅広く身に付け、生涯を通して責任ある医療を提供できるように、人間性豊かな研修を目標とする』となっております。当院のプログラムは、必須科目以外は全て研修医の希望に沿って個々に計画する最も柔軟性の高いものとなっております。入職前から臨床研修専任のスタッフが皆様の希望を伺いますので気軽に相談して頂き、プランニングを立てて下さい。もちろん、途中で新たに興味を持った分野を勉強してみたいと思った場合は変更も可能です。現在のプログラムは、当院ではなかなか学べない科などは、協力病院で研修を行うことになっており、急性期から在宅医療まで幅広く研修することが可能です。当院では各科の指導医はもちろん、コメディカル等、病院全体のスタッフが若い研修医の皆さまを育てようという雰囲気満ちています。また、医局が1つでありアットホームである為、垣根を超えた研修医や先輩医師との交流ができ、研修を支えてくれることも大きな特徴の1つです。当院は2次救急指定病院であるため、指定日には多くの救急患者が来院・搬送されます。また、新病院移転に伴いヘリポートも完備し、救急患者を受け入れています。その中には外科系・内科系・小児科系等様々な救急患者が混在しており、大人から子供まで幅広い救急疾患、即ちプライマリーケアを学ぶことが出来ます。

## ■プログラム紹介 (参考：平成 29 年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : 星総合病院卒後臨床研修プログラム／清野 義胤
- 研修スケジュール 募集人数 7 名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年次	内科系診療科						救急部門			選択必修 (外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科 より2科以上選択)		
2 年次	地域医療	小児科	精神科	選択								

## ●協力型病院名 (科目)

公益財団法人 星総合病院 星ヶ丘病院 (精神科)	三春町立 三春病院 (内科／地域医療)
公立大学法人 福島県立医科大学附属病院 (救急科／血液内科／呼吸器内科／腎臓・高血圧内科／リウマチ・膠原病科／放射線科)	
一般財団法人太田総合病院附属 太田西ノ内病院 (呼吸器内科)	一般財団法人 慈山会医学研究所附属 坪井病院 (緩和ケア内科)
一般財団法人温知会 会津中央病院 (救急科)	他 3 施設

## ●協力施設

公益財団法人 星総合病院 ほし横塚クリニック	医療法人 古川産婦人科	医療法人やすらぎ会 いがらし内科外科クリニック
医療法人 池田内科医院	医療法人栄心会 さかえ内科クリニック	山本内科医院
モミの木クリニック	福島県立 宮下病院	他 5 施設

## ■教育体制

当院では『出来るだけ多くの経験を積む』ことを基本方針とし、患者さんを中心としたチーム医療を目指しています。スタッフ一丸となり研修医を育てていこうとする温かい雰囲気があり、多職種が研修医向けの勉強会に協力し実施しています。研修2年目には法人主催の海外研修に参加し、視野の広い医療を学ぶことが出来ます。私たちは幅広い診察能力の獲得を目標としている人に最適な研修環境を提供出来るものと考えています。

【勉強会】

①症例カンファレンス (第2・4木曜日) / ②救急症例検討会 (第4木曜日)

③救急対応勉強会 (第2・4水曜日) / ④指導医レクチャー (不定期/月1回程度)

⑤医療英会話 (月1～2回) / ⑥ランチョンセミナー (第4木曜日) (平成 28 年 12 月現在)

## ■メッセージ

●指導医から一言

当院では、年間約 3,500 件前後の救急車を受け入れており、定員が1学年6名と少ないこともあって、月7回の救急指定日を通して数多くの救急患者をみることや、救急患者の治療手技を経験することが可能です。無論、必ず指導医とともに診療にあたることになっており安心して研修することができます。4階の医局は、全医師がオープンフロアの中で机に向かっており、疑問があればいつでも上級医が相談にのってくれる環境にあります。また、同法人内に地域医療や精神医療を勉強する施設もあるため、あらゆる症例を経験できるのも特徴です。星総合病院で勉強している研修医の『生き生きしている姿』を是非1度ご覧になってください。お待ちしております。

●先輩研修医から一言

先輩方が活き活きと研修されていたことが、星総合病院を選んだ決め手でした。現在、熱心な指導医と各分野専門のスタッフの方々から丁寧な指導を受け、着実に出来ることが増えていることを実感しています。目標に向かってレベルアップできるのが星総合病院です。

ぜひ、一度見に来て星総合病院の雰囲気を体感してみてください。

## ■病院理念

『醫靈』は辞書には載ってない言葉です。  
私達の持っている力を最大限に発揮してもなお救えなかった人々の霊に対し、その霊をも(癒)したい、それが医道を歩む者が生涯持ち続けなければならない覚悟であるという、創始者星一郎の信念が込められています。

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
当院は 32 科の診療科を持つ急性期病院です。当院では循環器内科における冠動脈疾患における心臓カテーテル検査・治療件数・心臓血管外科による手術件数、外科における乳がん手術件数、整形外科における人口関節置換術等は治療実績が多く、症例は県内外より紹介を頂いております。また、平成 25 年 8 月より認知症疾患医療センターが開設され、協力型病院の星ヶ丘病院との連携を図っております。平成 19 年より承認された地域医療支援病院として地域の医療機関との連携を図りながら地域医療の実践をしています。

診療科名	循環器内科	内科	消化器内科	神経内科	呼吸器内科	心臓血管外科	外科	小児科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	産婦人科	耳鼻咽喉科	泌尿器	眼科
医師数	10	1	1	1	1	2	9	5	4	2	1	3	3	3	2
指導医数	7	1	1	0	1	1	4	3	2	2	0	2	2	1	2

  

診療科名	麻酔科	放射線科	形成外科	病理診断科	緩和医療科	歯科	健診部	精神科	合計
医師数	4	1	2	1	1	2	1	2	62
指導医数	3	1	2	0	1	0	0	2	38

- 許可病床数 : 430 床 (一般 430 床)
- 入院患者数 (1 日平均) : 334.9 人
- 外来患者数 (1 日平均) : 656.1 人
- 平均在院日数 (一般病床) : 13.1 日
- 分娩件数 : 339 件
- 救急医療の提供実績 : 2 次救急病院として郡山市の救急輪番制に参加しており、救急指定日 (毎週火曜日・第 1 土曜日・第 3 日曜日・第 5 日曜日) には、郡山市及び周辺地域から広く救急患者を受け入れています。またヘリポートもある為、日中のドクターヘリの受け入れを行っています。
- 医療法上の位置づけ : 2 次救急病院
- 救急取扱件数 : 8,882 件
- 救急車取扱件数 : 3,534 件
- 救急医療を行う診療科 : 内科、外科、小児科、脳神経外科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当 (実績等による目安) : 【1 年次】 423,100 円 (月額、手当、税込)、6,134,950 円 (年額、賞与、手当、税込)  
【2 年次】 453,100 円 (月額、手当、税込)、6,796,500 円 (年額、賞与、手当、税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 健康保険 / 厚生年金 / 確定拠出年金 / 雇用保険 / 労災保険 / 施設賠償責任保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】 有り 【個人加入】 有り
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】 有り (開園時間 (日勤者) 8:00 ~ 18:30、夜間・休日保育、延長保育あり)  
【その他】 病児・病後児保育有り、育児休暇制度、短時間勤務制度、当直・呼び出し免除、復帰支援 (ランチョンママセミナー・診療トレーニング) 等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 7 名
- 応募資格 : 平成 29 年度 医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類 : (1) 履歴書 (当院所定※) (2) 卒業見込み証明書または卒業証明書 (3) 成績証明書
- 試験内容 : (1) 書類選考 (2) 面接試験
- 申込締切日 : 平成 29 年 7 月中旬より 8 月上旬 (決定次第ホームページに掲載)
- 試験実施日 : 平成 29 年 8 月予定 (決定次第ホームページに掲載)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1 年次 6 名 うち女性 1 名  
2 年次 2 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学 : 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院
- 当直回数 : 4 回 (1 年目は救急指定日のみ副直として (月 2 ~ 3 回程度)、2 年目は指導医とともに救急指定日に当直 (月 4 回程度))
- 研修修了後の進路 : 公立大学法人 福島県立医科大学附属病院、公益財団法人 星総合病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り (循環器科 / 消化器外科 / 乳腺外科 / 外科総合 / 麻酔科 / 精神科 / 放射線科)

申し込み、問い合わせ先  
公益財団法人 星総合病院  
教育研修センター  
963-8501 福島県郡山市向河原町 159-1  
TEL 024-983-5524 FAX 024-983-5526  
E-mail kensyu2@hospital.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院は会津地域の基幹病院として、常に地域に密着して診療を提供しています。当院の研修プログラムは、外科、小児科、精神科、産婦人科も必修とした、広範な研修目標に対応したスケジュールとなっています。研修は、病棟及び救急室における現場重視の実践的なものになってはいますが、特に救急研修においては、1～3次までの広範な症例を経験することができます。研修先が数ヶ月毎に変わりますが、各診療科間の垣根が低く、他科のDrにも気軽にコンサルタントできます。また、広範な選択科での研修が可能であり、希望があれば、会津地域の他の臨床研修病院での研修も可能です。大運動会、部署別対抗スポーツ大会や医局旅行、2年目には研修医旅行など楽しいイベントもたくさん企画しています。日々の業務は忙しいですが、その中でも充実した研修医生活を送れるものと思います。熱意のある皆様のご応募をお待ちいたしております。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：竹田総合病院初期臨床研修プログラム／絹田 俊爾（外科科長）
- 研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	オリエンテーション	内科系①		内科系②		内科系③			救急①	麻酔科	外科系	小児科	産婦人科
2年次	精神科	地域医療	救急②	選択科									

## ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（小児科、産科婦人科、救急科、麻酔科、循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科）
福島県立医科大学会津医療センター附属病院（総合内科、外科、整形外科）
会津中央病院（内科、消化器科、救命救急、整形外科、麻酔科、脳神経外科、産婦人科、心臓血管外科）

## ●協力施設

芦ノ牧温泉病院	介護老人保健施設 エミネンス芦ノ牧	山鹿クリニック
喜多方市 地域・家庭医療センター	只見町国民健康保険朝日診療所	福島県立宮下病院
福島県立南会津病院		

## ■教育体制

まず、研修に先立ち、オリエンテーションを実施します。最初の1週間は、病院全体の新人オリエンテーションを他職種の職員と一緒に受講。その後、研修医対象としたオリエンテーションにて実技や電子カルテ操作等について学びます。また、適宜実技指導の時間を設けています。救急研修開始前には、救急室オリエンテーションを実施し、それを経て救急研修開始となります。週2回の研修医勉強会は、各科科長の講義、研修医による症例発表・抄読会、他職種部門の講義など、研修医主体で内容を企画しています。主に救急室で困った症例を取り上げ活発に意見交換をしています。また、週1回の医局会においては研修医向けの講演会も盛り込まれており、CPC検討会も病理医の指導のもと、研修医が演者となり開催しています。医学図書蔵書数も豊富で、インターネットによる文献検索が可能な環境も整っています。学会・研究会の参加費用も補助しています。

## ■メッセージ

### ●先輩研修医から一言

当院は初期研修医にとって魅力の詰まった病院です。1つ目は症例数の充実。1・2年目の大事な時期に幅広い分野のcommon diseaseを十分に経験することができます。CV挿入・内視鏡・心臓カテーテル検査など手技も豊富で、手術執刀の機会もあります。会津地域唯一のNICUがあり分娩件数は県内有数です。救急外来患者数も非常に多く、自分で考えて検査・診断・治療・紹介と進めていくため大変力になります。上級医も常に隣のブースで診療をしているので、判断に困る時や重症・緊急例では相談しながら診療することができます。

2つ目は勉強する環境が整っていること。1年目の9月から開始する救急当直は忙しいですが0時までで、その後は自宅で休養をとることができるので翌日もスッキリとした頭で研修に臨めます。勉強会は週2回。研修医同士の発表や上級医からのレクチャー等です。図書室には豊富な蔵書もあり、UpToDate・Dynamed・Clinical keyにもアクセスできます。研修内容も希望次第で柔軟に変更していただけます。

最後は何よりも人のあたたかさです。新しくきれいな院内には明るい挨拶と笑顔があふれていて、患者さんに対してだけでなく職員同士も思いやりの心を持って働いています。病院全体で研修医を育てようという雰囲気があり、上級医はもちろん、看護師・コメディカルの方皆さんも質問すると優しく教えて下さいます。飲み会や医局旅行、研修医旅行、職員全体の大運動会まであり、とても賑やかで毎日楽しく研修をしています。

少しでも興味の出た方は会津の観光も兼ねて、ぜひぜひ見学にいらしてください。心よりお待ちしております。

## ■病院理念

【経営理念】

- ◆信頼されるヘルスケアサービスを提供し地域に貢献する。
- ◆職員が成長し喜びを感じられる組織風土をつくる。

【使命】

- ◆質の高い保健・医療・福祉の機能を提供し地域の方の健康に関する問題解決を支援する。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は昭和3年の開業以来、常に地域に密着して発展してきました。昭和62年臨床研修病院認可を受け、各学会の認定・教育・修練施設となっています。2次救急告示病院ですが、24時間受け入れ可能な救急体制を構築し、多数の救急患者さんを受け入れています。地域周産期母子医療センター、地域リハビリテーション広域支援センターに認定、平成19年には、がん診療連携拠点病院の認可を受ける等、会津地域の基幹病院として広範なヘルスケアサービスを提供しています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	循	呼	呼外	消	小	外	整	形	脳外	神内	心外	皮	泌	産婦	精
医師数	6	2	1	2	4	7	12	6	4	5	3	2	1	3	5	7
指導医数	4	2	1	1	2	5	6	5	2	4	3	1	1	2	3	6

診療科名	眼	耳	放	麻	緩和	リハ	救急	病理科	合計
医師数	3	4	3	5	1	1	1	1	89
指導医数	2	1	3	3	1	1	1	1	61

- 許可病床数：837床（一般693床、精神144床）
- 入院患者数（1日平均）：641.2人
- 外来患者数（1日平均）：1,176人
- 平均在院日数（一般病床）：14.4日
- 分娩件数：989件
- 救急医療の提供実績：当院は2次救急告示病院であり、救急部はないが充実した救急室を備えており、会津地域の中核的救急施設として機能している。年間約45,000人の救急患者、約6,100台の救急車を受け入れており、1次から3次救急まで多彩な患者さんを診療している事が特徴である。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：45,367件
- 救急車取扱件数：6,126件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。[<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>]

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】472,050円（月額、手当・税込）、6,300,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】500,400円（月額、手当・税込）、7,300,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（365日24時間体制。夜間呼び出し時にはベビーシッターサービスも提供。）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：10名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1) 初期研修申込書 (2) 履歴書（写真添付）(3) 卒業（見込み）証明書 (4) 健康診断書（大学発行のもので可）
- 試験内容：(1) 面接 (2) 適性検査
- 申込締切日：平成29年7月～8月中旬の予定（詳細は当院ホームページ参照）
- 試験実施日：平成29年8月下旬頃の予定（詳細は当院ホームページ参照）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 10名 うち女性 2名  
2年次 7名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、東北大学、山形大学、東京大学、新潟大学
- 当直回数：月5回（当直は1年次の9月より開始）
- 研修終了後の進路：当院にて引き続き研修 3名、岩手医科大学 1名、東北大学 1名、東京大学 1名  
国立成育医療研究センター 1名、横浜市立みなと赤十字病院 1名
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、精神科、耳鼻咽喉科、脳神経外科、消化器内科、形成外科、心臓血管外科、放射線科、神経内科、麻酔科、呼吸器内科、呼吸器外科）

**申し込み、問い合わせ先**  
 一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院  
 臨床研修管理室  
 〒965-8585 福島県会津若松市山鹿町3-27  
 TEL 0242-29-9820 FAX 0242-29-9897  
 E-mail [r-kensyu@takeda.or.jp](mailto:r-kensyu@takeda.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

### ●当院の臨床研修の特徴

いわき市を含めた福島県浜通り地区における、唯一の3次救命救急センターを有していることから、急性期疾患を対象とする基幹病院として、救急医療、高度医療、特殊医療を主に担当しています。このため、入院・外来患者はもとより救急患者も多く、Common Disease から3次救急医療の対象となる疾患まで、多くの症例数と多彩さを持ち合わせておりますので、当院の研修を修了する頃には、多岐にわたる症例に十分対応できるレベルまで、医師としての基礎を習得することができます。

### ●基本プログラム

内科系6ヶ月、救急3ヶ月、外科系3ヶ月、小児科1.5ヶ月、産婦人科1.5ヶ月、精神科1ヶ月、地域医療1ヶ月、選択科7ヶ月を研修します。

### ●選択研修時の診療科が豊富

選択科は、7ヶ月で選べる診療科が多くあります。内科系(消化器内科、循環器内科、血液内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌科、心療内科、神経内科)、外科系(外科、呼吸器外科、心臓血管外科)、救命センター、麻酔科、小児科、産婦人科、整形外科、小児外科、未熟児・新生児科、泌尿器科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、病理診断科、脳神経外科、放射線画像診断科)

### ●上級医や先輩研修医の親身な指導

1981年から臨床研修病院の指定を受けており、上級医などの先輩医師による指導文化が根付いています。病院主催のイベントも多く、先輩医師やメディカルスタッフ等の親交を深める場もあります。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : いわき市立総合磐城共立病院卒後臨床研修プログラム／吉田 寛
- 研修スケジュール 募集人数 10名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科系						救急科			外科系		
2年次	小児科 1.5月	産婦人科 1.5月	地域医療	精神科	選択科							

### ●協力型病院名 (科目)

福島県立医科大学附属病院 (呼吸器内科、神経内科)	医療法人済精会 長橋病院 (精神科)
公益社団法人ときわ会 常磐病院 (腎臓内科)	

### ●協力施設

医療法人医和生会 山内クリニック	医療法人泰成会 木村医院	公益財団法人ときわ会 いわき泌尿器科
独立行政法人国立病院機構 いわき病院	福島県立宮下病院	福島県立南会津病院
只見町国民健康保険朝日診療所		

## ■教育体制

- 指導体制：研修医1～2名に対し、原則として指導医1名がつき、診療の実践に当たりつつ、指導を行います。研修医は、さらに診療科の部長(指導責任者)の指導、監督を受けます。
- 研修管理委員長及び役職：吉田 寛(外科主任部長)
- 臨床病理研究会の実施状況：6回/年
- 図書室：有り (Clinical Key、UpToDate、Cochrane Library、メディカルオンライン、今日の診療イントラネット版、各種オンラインサービスが利用可能)
- インターネット利用環境、利用場所：各医局及び研修医医局で利用可能
- 学会・研修会への参加費用支給：有り
- 毎週月曜夜：研修医勉強会開催(当直免除)
- 勉強会例) BLS、ACLS、小児救急、外科縫合、腹部エコー、画像診断、眼科救急、精神科救急、泌尿器科救急、整形外科救急、小児科救急、耳鼻科救急、他大学教授による講演会、保険診療等

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院で2年間の臨床研修が修了した時に、全ての救急患者さんの初療に自信を持って対応できる医師になれるよう、私たち指導医は全力でサポートし、指導し、そして応援します。

また、当院は地域完結型の医療を目指し、各診療科が高度先進医療を実践していますので、自分が進みたい専門領域のスタートとしても充実した研修ができることを約束します。

医師として、そして社会人としての第一歩を、是非私たちと共に当院で踏み出しませんか。決して後悔させません。待っています。

### ●先輩研修医から一言

当院は福島県浜通り地方と、茨城県北部地域の約40万人をカバーする拠点病院として機能しております。そのため救急症例数はきわめて豊富であり、Common Disease から稀な疾患まで幅広く経験することができます。救命救急センターは、救命救急医療で有名な日本医科大学から多数の医師が派遣されており、最先端の医療を直に経験することができます。また救急外来では、各診療科のバックアップのもと、自由度の高い当直体制が敷かれており、研修医が主体となって患者さんの対応を行うことができます。平成30年度には新病院の開院が予定されており、医療設備や職場環境がより充実します。興味のある方は、学年を問わず歓迎します。是非一度見学にいらしてください。お待ちしております！

## ■病院理念

基本理念「慈心妙手」

わたしたちは、市民の健康と生命を守るため、安全で安心な医療を提供し、地域から信頼され、進歩し続ける病院を目指します。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

1. 自治病院として、高度・特殊・先端医療の推進と救急医療などの政策医療に取り組み、地域基幹病院として役割を果たしています。今後も地域完結型の医療を目指します。
2. 急性期対応型病院として、さらに医療の質の向上と能率化を図ります。
3. 臨床研修病院として、指導医体制を強化し、教育プログラムや評価システムの充実を図るとともに、研修しやすい環境を整備しております。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	消	循	心内	小	小外	NICU	外	心外	整	形	耳鼻	呼内	脳外	泌
医師数	6	8	7	1	10	2	2	11	6	10	6	4	1	4	3
指導医数	2	5	2	1	3	2	1	8	2	4	0	1	0	0	1

診療科名	産	眼	麻	救命	他	合計
医師数	5	2	8	5	5	106
指導医数	3	1	2	1	3	42

- 許可病床数 : 761床 (一般 709床、結核 46床、感染症 6床、歯科 10床)
- 入院患者数(1日平均) : 553.2人
- 外来患者数(1日平均) : 951.1人
- 平均在院日数(一般病床) : 16.4日
- 分娩件数 : 921件
- 救急医療の提供実績 : 当院の救急医療は、初期、2次救急患者の治療を行う救急外来と、一つの診療科だけでなく、数科にわたる処置や集中治療を要する3次医療ゾーンの救命救急センターにより運営しています。また、日本救急医学会救急科専門医指定施設であり、救急育成の場や、救急救命士のプレホスピタルケア教育の場としても重要な役割を果たしています。

- 医療法上の位置づけ : 3次医療機関
- 救急取扱件数 : 22,070件
- 救急車取扱件数 : 4,563件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当(実績等による目安) : 【1年次】424,400円(月額、手当・税込)、6,133,805円(年額、賞与・手当・税込) 【2年次】469,000円(月額、手当・税込)、7,274,661円(年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 健康保険協会管掌健康保険、厚生年金保険、労働災害保障保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り(7:30～18:30)

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 10名
- 応募資格 : 平成29年度に医師免許取得見込の者
- 応募必要書類 : (1)臨床研修申込書 (2)履歴書 (3)卒業見込証明書
- 試験内容 : (1)面接 (2)小論文
- 申込締切日 : 平成29年7月～9月頃の予定
- 試験実施日 : 平成29年8月上旬～9月下旬の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数 : 1年次 3名 うち女性 0名  
2年次 6名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学 : 東北大学、福島県立医科大学、慶應義塾大学、新潟大学
- 当直回数 : 6回(1年次の当直は、午前2時まで)
- 研修修了後の進路 : 東北大学形成外科(1)、東北大学耳鼻咽喉科(1)、日本医科大学附属病院(1)、当院後期研修医(5)
- 後期研修プログラムの有無 : 有り(消化器科、循環器科、整形外科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、小児科、耳鼻咽喉科、麻酔科)

## ■申し込み、問い合わせ先

いわき市立総合磐城共立病院

事務局 総務課総務係

973-8555 福島県いわき市内郷御殿町久世原16番地

TEL 0246-26-6791 FAX 0246-26-2224

E-mail [kensyu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp](mailto:kensyu@iwaki-kyoritsu.iwaki.fukushima.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- ・24時間体制の2次救急センターを運営しており、一般的疾患から専門性を必要とする救急疾患まで症例が豊富である。
- ・研修医専従の事務スタッフがあり、サポート体制が充実している。
- ・各診療科が研修医の受け入れ、教育に熱心である。
- ・各診療科の垣根が低いので、気軽に各科の指導医・上級医に相談ができる。
- ・2年間の初期研修終了後の専門科への受け入れができる。
- ・自由選択期間が長い。(最大11ヵ月)
- ・放射線機器 (PET-CT 4台、MRI1.5T 5台・3T 2台、64製CT 4台・16製CT 3台、フラットパネル式アンギオ装置 3台) が充実。
- ・放射線科医が多数在籍し、合同カンファレンスも充実している。
- ・最先端の医療機器を積極的に導入しているので、高度先進医療に携わることが出来る。(陽子線治療・IMRT・BNCT等)
- ・交通の便が良い。(新幹線で東京まで80分、仙台まで40分)
- ・生活環境が良い。(駅前まで車で10分、病院付近2km範囲内に大型ショッピングセンター、近くにおいしい居酒屋・飲食店)
- ・医師・コメディカル・事務員のコミュニケーションが良好で、職場の雰囲気がとても良い。
- ・平成27年4月に新しい医局が完成。(個室できれいな当直室・シャワールーム完備)
- ・給与・手当(住宅手当7万円)が充実している。
- ・1年あたり2回まで学会参加費用補助あり。

## ■プログラム紹介 (参考：平成29年度開始プログラム)

- プログラム名／プログラム責任者 : 総合南東北病院初期臨床研修プログラム／佐久間 秀夫
- 研修スケジュール 募集人数 14名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科(救急含む)			選択必修科		
2年次	地域医療	自由選択科										

## ●協力型病院名 (科目)

公立岩瀬病院 (小児科)	財団法人金森和心会 針生ヶ丘病院 (精神科)
独立行政法人国立病院機構福島病院 (小児科 産婦人科)	社会法人 将道会 総合南東北病院 (脳神経外科 外科 麻酔科 形成外科 整形外科)
公立大学法人 福島県立医科大学 (小児科 周産期センター 産婦人科 内科 外科 皮膚科)	太田総合病院附属太田西ノ内病院 (腎臓内科 血液内科 リウマチ・膠原病科 麻酔・救急科 糖尿病内科)

他2施設

## ●協力施設

脳神経疾患研究所 附属 南東北医療クリニック	脳神経疾患研究所 附属 南東北眼科クリニック	脳神経疾患研究所 附属 南東北がん陽子線治療センター
矢内クリニック	福島県赤十字血液センター	いがらし内科外科クリニック
いしだ内科	のざわ内科クリニック	他10施設

## ■教育体制

【指導体制】原則として、一人の研修医に一人の指導医ないし上級医がつく。
【教育に関する行事】
オリエンテーション (4月初め1週間)
卒後教育講座(各種救急疾患に対する診断・治療に対する講義、各診療科の初期治療や各種疾患に関する講義 1回/2週間)
抄読会・症例検討会 (毎週水・金曜日午前7時55分～9時00分)
CPC (3～4回/年)、研修医による症例検討報告会 (年2回)

## ■メッセージ

<p><b>●指導医から一言</b></p> <p>当院は、1次2次救急から脳・心臓循環器疾患を中心としたがん診断・治療、さらにはリハビリから介護・在宅まで一般的に経験すべき重要な疾患が豊富に学べる環境にあります。当院では週2回のモーニングカンファランスがあり、全ての医師が一堂に会して知識・情報を共有しており、研修医にとっては密度の濃い研修となると思います。将来患者のために役立つ研修医を目指すなら、総合南東北病院はお薦めのスポット研修病院です。</p> <p>また、コメディカルやスタッフも協力的で働きやすい環境ですので、是非一度見学に来て、当院の雰囲気を感じ取ってください。</p> <p><b>●先輩研修医から一言</b></p> <p>当院は症例数や手技数が豊富で、症例発表の指導も熱心です。目的意識とやる気さえあれば、機会はいくらでも与えられます。それは日々の診察、手技から学会発表、論文執筆までと様々で、順番待ちをすることはありません。同期もこの病院のそういった点に惹かれて集まっているため、非常に意欲的で、より良い研修を行うために能動的に動いていこうという雰囲気があります。</p> <p>まだ自分が何をやりたいのか分からず、研修期間中に見つけたいと考える人もいるかと思います。どの病院にも長所短所があります。病院紹介の説明会だけでは耳当たりの良い言葉が並ぶだけで、その病院の実情はなかなかつかめません。実際に働いている研修医の姿を見て、この病院の長所は自分が求めているものと合致するのか、短所は許容できるものなのかを見極めてもらいたいです。</p>
---

## ■病院理念

- 「すべては患者さんのために」を理念とし、次の6項目を基本方針に掲げて診療を行っています。
- 患者さんに公正な医療を提供します。
  - 患者さんのプライバシーを尊重します。
  - より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
  - 医師による説明と患者さんの選択に基づく医療を進めます。
  - 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
  - 患者さんの人生が最後まで豊かであるように、その意思を尊重します。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績
- 脳卒中・神経センターをはじめ、各診療科にセンター方式を導入し、高度医療を実践している。24時間体制の救急センターが設置されており、年間約5000台の救急車を受け入れている。PET-CT 4台、3.0テスラーMRI 7台(3.0テスラー2台・1.5テスラー5台)、CT 7台(64チャンネル4台・16チャンネル3台)、フラットパネル式アンギオ装置 3台が稼働している。2008年10月には陽子線治療、2010年4月にはIMRTの治療を開始。さらに2015年9月にBNCT研究センターが完成し、2016年1月から臨床試験(治験)を開始するなど、世界最大のがんの診断・治療センターを目指している。

診療科名	脳外	神内	循内	呼内	消内	外	救急	麻酔	整形	外傷	心外	泌尿	耳鼻	形成	呼外
医師数	11	7	6	2	9	11	2	7	5	9	6	4	4	1	2
指導医数	7	2	6	1	3	8	1	4	4	2	3	3	2	1	2

診療科名	皮膚	総診	放射線	小児	産婦	眼科	病理	研修医	その他	合計
医師数	3	3	20	3	2	3	1	21	1	143
指導医数	1	2	8	0	2	2	1	0	1	66

- 許可病床数 : 461床 (一般 461床)
- 入院患者数(1日平均) : 461人
- 外来患者数(1日平均) : 1,539人
- 平均在院日数(一般病床) : 15.2日
- 分娩件数 : 正常分娩件数 319件、異常分娩件数 94件
- 救急医療の提供実績 : 陰圧室、処置室、応急ベッド室、緊急用心電図の設置など、救急外来の充実を図っております。収容時には最新機器を駆使して迅速で的確な診断を下し、場合によっては即座に手術などの治療を施します。このため、医師が勤務表に基づいて救急担当を決め、24時間態勢をとっています。

1日平均件数 49.6件(うち診療時間外 42.2件)

- 医療法上の位置づけ : 第2次救急医療機関
- 救急取扱件数 : 18,119件
- 救急車取扱件数 : 5,167件
- 救急医療を行う診療科 : 全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当(実績等による目安) : 【1年次】615,500円(月額、手当・税込)、7,386,000円(年額、賞与・手当・税込)  
【2年次】735,000円(月額、手当・税込)、8,820,000円(年額、賞与・手当・税込)
- 研修医に対する各種保険等の適用 : 全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い : 【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無 : 有り
- 出産育児等の支援体制 : 【院内保育園の有無】有り(保育時間 月曜日～土曜日(日中)8:00～19:00/  
全日(夜間)15:30～翌日16:30/日曜日・祝日8:00～19:00)

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数 : 14名
- 応募資格 : 平成30年3月医師免許取得見込みの者、医師免許取得者1年未満の者
- 応募必要書類 : (1) 卒後臨床研修プログラム採用申請書 (2) 基本プログラム採用申請書 (3) 履歴書 (4) 健康診断書 (5) 成績証明書 ※(1)、(2)、(3)は当院指定用紙
- 試験内容 : (1) 書面審査 (2) 面接
- 申込締切日 : 下記の希望する面接日の1週間前までの必着
- 試験実施日 : 平成29年8月12日(土)、平成29年9月9日(土)、平成29年9月30日(土)  
※最新情報はホームページで確認することができます。

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数 : 1年次 10名 うち女性 1名  
2年次 11名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学 : 東京大学、大阪大学、東京医科歯科大学、東北大学、福島県立医科大学、岩手医科大学、産業医科大学、東海大学、岡山大学、帝京大学、川崎大学、聖マリアンナ医科大学、スイスベルン大学
- 当直回数 : 4回(1年次は5月から開始(5月のみ2回)、最大月6回)
- 研修終了後の進路 : 総合南東北病院(当院)、福島県立医科大学、白河厚生病院、東京医科歯科大学病院
- 後期研修プログラムの有無 : 有り(脳神経外科、外科、整形外科、循環器内科、消化器内科、神経内科、呼吸器内科、麻酔科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線診断科、放射線治療科、眼科、皮膚科、小児科、呼吸器外科、心臓血管外科、産婦人科、病理診断科、小児心臓外科)

<p><b>申し込み、問い合わせ先</b></p> <p>一般財団法人 脳神経疾患研究所 附属 総合南東北病院 臨床研修担当</p>	<p>963-8563 福島県郡山市八山田七丁目115 TEL 024-934-5415 FAX 024-922-5320 E-mail kensyu@mt.strins.or.jp</p>
--	---

## ●当院の臨床研修の特色

県中地方の基幹病院である当院では、プライマリ・ケアへの理解を深め、患者を全人的に診ることができる診療能力を身に付けた医師の養成を目指し、研修を行います。

特に外科では、日本内視鏡外科学会の技術認定医が3名在籍しており、院内に「内視鏡外科センター」、「ヘルニアセンター」を開設、高い診療レベルの中での研修が可能です。

当院プログラムの特徴としては各科の研修はもちろんコメディカルでの研修も充実していることがあげられます。「臨床研修支援会議」を立ち上げ、各部門の所属長からの研修リストと研修医からの要望を取り入れ週間研修予定表を作成しています。チーム医療を実践するために各部門の理解を深め、全職員でサポートしていきます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：公立岩瀬病院卒後臨床研修プログラム／大谷 弘
- 研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科			救急	小児科	
2年次	小児科	地域医療	選択									

## ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（循環器内科、心身医療科（精神科）、眼科、病理診断科）	白河厚生総合病院（放射線科、皮膚科）
福島県立矢吹病院（精神科）	寿泉堂総合病院（放射線科、眼科）
独立行政法人国立病院機構福島病院	

## ●協力施設

国分内科クリニック	黒澤医院	西間木医院
こんの小児科	あすなろこどもクリニック	福島県立南会津病院
福島県立宮下病院	只見町国民健康保険朝日診療所	他1施設

## ■教育体制

<p>新採用職員研修：3日間・看護部合同新人研修：6日間・コメディカル研修：3か月間・外科・消化器科合同カンファレンス：週2回・各科カンファレンス・抄読会：週1～・須賀川消防署との救急業務連絡会（症例検討会）：2ヶ月に1回・オープンシステム勉強会（症例検討会）：月1</p> <p>コメディカル研修として循環器内科ローテート中に検査科（採血・エコー等）、放射線科（一般撮影等）、リハビリテーション（介助方法等）、医事課（各書類の作成について）、栄養科（特別食、一般食について）、薬剤部（無菌調整剤等）での研修を体験します。オープンシステム勉強会では指導医のもとに随時発表を行います。近隣の開業医等も参加し、将来の属性に関わらず、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に対応できる能力が身に付けられます。</p>
---

## ■メッセージ

<p><b>●指導医から一言</b></p> <p>公立岩瀬病院は基幹型研修病院です。希望がある場合は研修病院と協力施設との連携で研修する形ですので、性格の異なる複数の病院で研修を経験することが可能です。平成29年度には産科婦人科病棟が完成し、さらに充実した研修環境となります。また、研修病院の協力施設としても機能しております。協力病院として主に小児科の研修を受け入れています。コメディカルでの研修も充実しており、コメディカルの協力体制も良好です。地域医療に対してやる気のある研修医のご参加を期待しております。将来何を得意分野にするにしても幅広い研修ができる当院は、研修環境として優れているものと自負しております。私達と一緒に地域医療を体験してみませんか。</p> <p><b>●先輩研修医から一言</b></p> <p>公立岩瀬病院は病床数240と臨床研修病院としてはそれほど大きくはありませんが、研修医も少数である分、症例や手技も多く経験でき、他科との垣根が低く気軽に相談できる環境の中、研修を行うことができます。また、当院研修の特徴の一つとして各コメディカル部門との連携が強いことがあげられます。最初の3ヶ月間はプログラムにコメディカル部門での研修が多く組み込まれており、それぞれの知識や手技などを幅広く教えていただける環境が整っています。特に、検査科での毎朝の外来採血やエコー検査などはとても自分のためになりました。さらに、外科研修で御世話になる手術室には3D内視鏡手術システムが導入されており、消化管から肝胆膵に対する最先端の内視鏡手術も行われています。ぜひ一度見学に来て当院の良さを感じてもらえればと思います。</p>
---

## ■病院理念

患者中心の医療を実践し、地域の皆さんに信頼される病院をめざします。

- ・「わたしたちは、患者さんの目線で医療をすすめます」
- ・「わたしたちは、地域の皆さんとともに、信頼され親しまれる病院をめざします」
- ・「わたしたちは、命と健康を守り、地域医療の中核となる病院をめざします」
- ・「わたしたちは、職員を大切に、自ら誇りを持てる病院づくりをすすめます」

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
当院は明治5年に当時の先覚者たちにより近代医学の導入のために創設され、140年を超える歴史があり、福島県立医科大学の原点でもあります。当院の外科においては腹腔鏡下手術が年間300件を超えています。安心して安全に良質の医療サービスを患者さんに提供できることをモットーに病院を挙げて全力で取り組んでいます。  
また、平成29年4月から産婦人科・周産期センターが開設予定です。

## ●診療科・医師数

診療科名	内科	外科	整形外科	小児科	泌尿器科	病理科	麻酔科	臨床研修医	合計
医師数	9	6	3	3	2	1	1	3	28
指導医数	5	4	2	2	1	1	1	0	16

- 許可病床数：240床（一般234床、感染症6床）
- 入院患者数（1日平均）：175.9人
- 外来患者数（1日平均）：305人
- 平均在院日数（一般病床）：13.7日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：当院は、二次救急告示病院として、須賀川・岩瀬・石川郡の救急医療を担っています。また、地域医療連携が充実し、当直医と開業医による救急支援を実施しています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：6,356件
- 救急車取扱件数：1,232件
- 救急医療を行う診療科：内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】460,000円（月額、手当・税込）、6,920,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】510,000円（月額、手当・税込）、7,620,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し（住宅手当27,000円まで支給）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】産休・育休制度有り

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：3名
- 応募資格：平成30年3月医師免許取得見込みの者
- 応募必要書類：(1) 研修申込書※所定の用紙を当院ホームページよりダウンロードしてください (2) 履歴書 (3) 大学卒業見込証明書
- 試験内容：(1) 面接
- 申込締切日：平成29年7月下旬～平成29年8月中旬予定
- 試験実施日：平成29年7月下旬～平成29年8月中旬予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 1名 うち女性 0名  
2年次 2名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、聖マリアンナ医科大学
- 当直回数：2～4回（1回20,000円支給）
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学附属病院、福島県立矢吹病院等
- 後期研修プログラムの有無：無し

## ■申し込み、問い合わせ先

公立岩瀬病院 総務課（秋山）	962-8503 福島県須賀川市北町20番地 TEL 0248-75-3111 FAX 0248-73-2417 E-mail soumu4@iwase-hp.jp
-------------------	--

## ●当院の臨床研修の特色

当院は福島県の二次医療圏である人口約34万人を擁するいわき市の「地域がん診療連携拠点病院」（平成15年8月指定）であり、「地域医療支援病院」（平成16年2月承認）でもある。「地域がん診療連携拠点病院」の役割として、関係診療科の診療体制の充実を図り、平成19年8月に当院の強みである消化器科・外科を統合し、消化器病センターを開設。また、平成21年12月より福島県では2施設目でありいわき二次医療圏では初の緩和ケア病棟を開設し、予防から末期在宅医療の体制が確立されている。「地域医療支援病院」の役割として、地域の開業医224名（平成28年12月現在）に登録していただき、病診・病病連携を積極的に進めており、紹介率は89.7%（平成28年11月現在）となっている。

当院における双方の役割を中心に、特に紹介患者の多い内科・外科の研修に多くの時間を割き、プライマリケア直結となる研修プログラムを作成している。募集定員は2名と少数だが、少数だからこそできる手厚い指導の実践と診断から治療までのマンツーマン方式による指導が大きな特色である。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：福島労災病院群合同初期臨床研修プログラム／武藤 淳
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急			選択必修科目		
2年次	地域医療			選択科								

## ●協力型病院名（科目）

公立大学法人福島県立医科大学附属病院（循環器内科、血液内科、消化器内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌代謝内科、神経内科、呼吸器内科、漢方内科、腫瘍内科、呼吸器外科、消化管外科、肝胆脾・移植外科、乳腺外科、小児外科、甲状腺・内分泌内科、甲状腺・内分泌外科、心血管外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、産科、婦人科、小児科、小児腫瘍内科、眼科、皮膚科、泌尿器科・副腎内分泌外科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、心身医療科、放射線科、放射線治療科、麻酔・疼痛緩和科、病理診断科、歯科口腔外科、救急科、リハビリテーション科）
財団法人磐城済社会舞子浜病院（内科、精神科、神経内科）

## ●協力施設

いわき市保健所	福島県立南会津病院	福島県立宮下病院
只見町国民健康保険朝日診療所	おおくぼ胃と腸・内科クリニック	医療法人医和生会山内クリニック

## ■教育体制

- 臨床研修研究会（CPC）の実施
- 各診療科へのカンファレンス参加：有り
- 医局会への参加：有り（毎月1回）
- 図書室：有り（在書数：単行書3,213冊、医学雑誌67種類）
- インターネット利用環境：院内LAN完備
- 診療システム：電子カルテ、オーダリングシステム、PACS
- 研修医専用机：有り
- 学会・研究会への参加費用支給：有り（年間50,000円）
- 専門医取得：可能
- その他：研修修了後、大学等への進路についても病院長以下十分なサポート体制をとっている。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院は、いわき医療圏で最初に『がん診療連携拠点病院』と『地域医療支援病院』の認定を受けています。当院の特徴は消化器科・循環器科・外科が充実していることで、各科5名以上の医師が勤務しています。また、二次救急病院として地域の重要な位置を占めており、年間の二次輪番の割当は71回と多く、軽傷から重傷の救急患者を多数経験できます。初期研修はマンツーマンで行いますので、きめ細かく指導できます。当院ではお互いの顔が見える診療と教育をモットーとしており、後期研修に繋がる効果的かつ柔軟性のある研修プログラムを用意しています。医師としての第一歩を人柄も気候も温かいいわきで踏み出してみませんか。病院のスタッフ一同、全力で応援します。活気あふれる当院で、活力あふれる若い医師と一緒に仕事が出来ることを楽しみにしています。

### ●先輩研修医から一言

私が福島労災病院で初期研修を行う目的のひとつは、地方都市の地域医療を実感することです。急速な高齢化社会とその先にあるのは、団塊の世代650万人の急速な退場です。2030年～2040年には年間死亡者が160万超になると言われています。医学がいかに進歩しようともこの流れを変えるのは不可能でしょう。初期研修時代に劇的に変化しつつある地域医療を肌で感じておくことは、将来、最先端医療等いずれの分野に進むにしてもとても意義あることだと思います。人口約35万人を抱える東北地方第2位の都市であるいわき市は、日本の近未来を示唆する都市でしょう。いわき市の地域医療を支える福島労災病院は、「地域医療支援病院」として激変する社会の只中でこれからの医療、医学を考えさせてくれる、医師として第一歩を踏み出すにふさわしい病院のひとつかと思っています。

## ■病院理念

- 1 受ける人が主役の医療の実践
- 2 最善の医療・看護の提供
- 3 働く人の健康管理とリハビリテーションの実施

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

「地域がん診療連携拠点病院」として、5大がんの手術、内視鏡手術などの低侵襲治療、化学療法、放射線治療、緩和ケアなどを駆使した専門的で切れ目のない治療や、地域との連携協力体制及び患者さんへの相談支援や情報提供など、良質ながん医療を提供している。また「地域医療支援病院」として、地域の医療機関と綿密な連携をもった地域の中核病院として急性期医療を基盤とした質の高い専門的な医療の提供に努めるとともに、二次救急医療機関としていわき医療圏の救急医療の中核を担っている。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	呼	消	循	外	整	泌	産婦	眼	耳鼻	リハ	病理	麻	研修医	合計
医師数	4	1	9	6	8	2	1	0	1	1	1	1	0	1	36
指導医数	1	0	6	4	7	1	1	0	0	0	1	1	0	0	22

- 許可病床数：406床（一般 406床）
- 入院患者数（1日平均）：252.3人
- 外来患者数（1日平均）：502.3人
- 平均在院日数（一般病床）：15.6日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：
  - 救急医療体制：24時間体制
  - 救急区分：2次救急、輪番制
  - 輪番回数：年間71回（平成27年度実績）
  - 診療体制：当直医1名、看護師2名、薬剤師1名、検査科1名、放射線科1名  
※急性心筋梗塞の患者に対しては、オンコールにて対応
  - 心肺停止状態搬送患者数：32人（平成27年度実績）

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：4,285件
- 救急車取扱件数：1,602件
- 救急医療を行う診療科：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】500,000円（月額、手当・税込）、6,130,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】520,000円（月額、手当・税込）、6,413,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：公的医療保険、公的年金保険、労働災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開園時間8時00分～18時00分）  
【その他】育児休業制度、育児短時間勤務制度、子の看護休暇等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：2名
- 応募資格：医師国家試験を受験し、医師臨床研修マッチングに参加するもの
- 応募必要書類：(1)履歴書(2)卒業(見込)証明書
- 試験内容：(1)書類審査(2)面接
- 申込締切日：平成29年8月頃の予定
- 試験実施日：平成29年7月から(予定)

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 0名 うち女性 0名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：国立大学法人山形大学
- 当直回数：1回
- 研修修了後の進路：-
- 後期研修プログラムの有無：有り（消化器科、循環器科、外科、整形外科）

## ■申し込み、問い合わせ先

独立行政法人労働者健康安全機構 福島労災病院  
 総務課

973-8403 福島県いわき市内郷綴町沼尻3番地  
 TEL 0246-26-1111 FAX 0246-26-1322  
 E-mail somu@fukushimah.johas.go.jp

**●当院の臨床研修の特色**

当院は「いつでも誰でもが安心してかかれる病院」として地域から親しまれてきました。入院時の個室料をいただくず、初回の費用負担を心配せず外来受診ができることから、様々な患者さんが利用できる身近な存在です。だからこそ様々な患者さんとの出会いがあります。

また急性期から慢性期、終末期医療や保健予防活動まで、幅の広い医療を展開しています。在宅医療にも力を入れており、もちろん初期研修医も訪問診療に加わることができます。

初期研修の目標は「患者の全身を診ることができる医師になることはもとより、患者の人生を考慮することができる医師」の育成です。臓器に偏らない総合診療的視点での診断・治療はもちろん、患者さんの退院後の生活まで思いやるプライマリ・ケア医を目指します。

当院の研修は主治医制です。1年目に総合内科で10カ月間じっくり研修します。様々な疾患を複合的に抱えた患者さんとしっかり向き合うので、最初は少し大変ですが身に付くものはとても大きいものがあります。また指導医がフォローする教育外来研修ではウォークインで来た患者さんに対して診断をつける力もつきます。

目の前の患者さんや地域からも信頼される「利用者にとっての最前線病院」でぜひ一緒に研修しましょう！

**■プログラム紹介**（参考：平成29年度開始プログラム）

●プログラム名／プログラム責任者：医療生協わたり病院医師研修プログラム／渡部 朋幸

●研修スケジュール 募集人数3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						外科部門・麻酔			救急		
2年次	地域医療	精神	産婦人科	小児科		内科			選択			

**●協力型病院名（科目）**

福島県立医科大学附属病院（救急部門・心臓血管外科）	福島赤十字病院（救急部門・脳神経外科・整形外科・外科・麻酔科・精神科・産婦人科）
公立藤田総合病院（脳神経外科・整形外科・麻酔科）	北福島医療センター（血液内科・外科・麻酔科）
小名浜生協病院（内科）	桑野協立病院（整形外科）

**●協力施設**

医療生協わたり病院附属ふれあいクリニックさくらみず	生協いの診療所	医療生協会津若松診療所
医療生協きたかた診療所	福島県立南会津病院	只見町国民健康保険朝日診療所
福島県立宮下病院	介護老人保健施設はなひらの	

**■教育体制**

- ※新入医師オリエンテーション
- ※新入医師レクチャー（研修1年目への基礎講義）
- ※モーニング抄読会（毎週1回）
- ※病棟カンファランス（毎週2回）
- ※術前術後カンファランス（毎週1回）
- ※MC（全科参加のカンファランスで、症例を診療科に偏らず多方面から検討できます）
- ※CPC（臨床病理検討会）

**■メッセージ****●指導医から一言**

当院の医師育成像は「患者の全身を診ることはもとより、患者の人生を考慮することができる医師」です。様々な患者さんが入院する総合内科病棟で、疾患にとらわれることなく一人の人間として患者さんを捉える事を学びます。また患者さんは複数の疾病をお持ちです。例えば心筋梗塞で入院した患者さんがCOPDや糖尿病を合併しているような場合、お一人の患者さんから学ばせていただけることは数限りなくあります。

また、在宅医療を学ぶための一環として行う訪問診療では、より具体的に親密な患者背景や地域連携の重要性がわかります。当院では地域医療の現実を初期研修中に学ぶことができるため、3年目以降も即戦力のDrとして活躍することを保証します。

**●先輩研修医から一言**

わたり病院の研修は、指導医のバックアップ付きで研修医が主体となり患者さんを担当します。実際に検査や治療の方針などを考え診療にあたるため患者さんへの責任感は強いです。また研修病院としては小規模病院であるメリットとして、指導医やメディカルスタッフのサポートが厚く、みんなで患者さん・研修医を支えるため安心感も大きいです。

2年目の在宅訪問診療では自分が入院で担当した患者さんを在宅で診ることも可能です。「点」ではなく「線」で患者さんをフォローしていくわたり病院の医療を体感することで、地域医療が一人の患者さんをどのように支えているのか、スケール感をもって味わうことができます。病院見学でその一部を感じていただき、一緒に研修しましょう！

**■病院理念**

私たちは、患者の権利を尊重し、いつでも誰でもが安心してかかれる病院を目指します。

**■診療内容****●診療の特徴、実績**

地域の第一線の医療機関として、予防・保健・健診活動に力を入れるとともに、救急の患者様の受入れと病診連携を積極的に取り組んでおります。地域の医療要求に応えるべく、小規模医療機関ながらも急性期からリハビリ、在宅医療まで幅広い医療を展開しております。また、高齢者医療では同一法人内の診療所、訪問看護ステーション、関連の福祉施設などの独自のネットワークで地域における在宅医療をトータルに支える体制を整えております。

**●診療科・医師数**

診療科名	内	消	循	呼	透析	小	婦	リハ	外	麻	心外	病理	合計
医師数	5	5	1	0	2	2	1	2	2	1	0	0	21
指導医数	2	3	1	0	1	2	0	2	2	1	0	0	14

- 許可病床数：196床（一般135床、療養61床）
- 入院患者数（1日平均）：151.9人
- 外来患者数（1日平均）：249.8人
- 平均在院日数（一般病床）：14.9日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：二次救急指定医療機関として、地域における救急医療の一翼を担っております。また、福島市の救急輪番病院群において循環器や小児科、外科疾患の受入病院として役割を果たしております。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：2,789件
- 救急車取扱件数：603件
- 救急医療を行う診療科：内科、循環器科、外科、小児科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

**■処遇**

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】445,000円（月額、手当・税込）、5,340,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】462,000円（月額、手当・税込）、5,544,000円（年額、賞与・手当・税込）

- 研修医に対する各種保険等の適用：日生協健康保険組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（7：50～18：00（月、水は19：30迄）24時間保育も可能）  
【妊娠中の支援】妊婦健診時間の有給保障、つわり休暇、病気休暇  
【産休中の支援】産前産後休暇、出産手当、職員互助会出産見舞金制度  
【出産に対する支援】出産育児一時金、出産育児一時付加金、祝い金  
【育児休暇中に対する支援】小学生養育の医師の当直免除、育児休暇など

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

**■研修医募集・応募方法・試験概要**

- 募集予定人数：3名
- 応募資格：第112回医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書(2)卒業(見込)証明書(3)成績証明書(4)健康診断書※指定応募用紙取り寄せ必要
- 試験内容：(1)面接(2)小論文
- 申込締切日：平成29年8月頃の予定
- 試験実施日：平成29年8月頃の予定

**■現在の研修状況と進路**

- 研修中的人数：1年次1名 うち女性0名  
2年次3名 うち女性2名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、帝京大学
- 当直回数：4回（当直研修は1年次6月から、見学より開始する）
- 研修終了後の進路：医療生協わたり病院 総合診療・家庭医養成コース
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合診療科・内科・外科・リハビリテーション科）

**■申し込み、問い合わせ先**

医療生協わたり病院  
医局事務課

960-8141 福島県福島市渡利字中江町34  
TEL 024-521-2056 FAX 024-521-1979  
E-mail [rinken@fmc.u-coop.or.jp](mailto:rinken@fmc.u-coop.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

中規模の総合病院（305床）ですが、研修医と各科の医師が同じ医局で机を並べているので、研修科以外の医師との対話がスムーズです。また各診療科間の垣根が低く、何でも相談できるアットホームな雰囲気も自慢です。マンツーマン指導を中心にすえたプログラムを意識し、数多くの症例を診るとともに、種々の手技をできるだけ多く経験できるように配慮しています。

福島県の中央、郡山駅前に位置し、東京まで新幹線で約80分、近くに福島空港もあり、日常生活はもちろん、研修会や学会の参加にとっても便利な環境です。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者：寿泉堂総合病院臨床研修プログラム／鴻野 浩
- 研修スケジュール

募集人数6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科（オリエンテーションを含む）						救急（脳神経外科）	救急（整形外科）	麻酔科	外科			
2年次	地域医療	精神科	選択必修科（小児科、産婦人科、放射線科より2科選択）		選択科								

## ●協力型病院名（科目）

東北大学病院（救急部門）	福島県立医科大学附属病院（神経内科・心臓血管外科・皮膚科）
寿泉堂松南病院（精神科）	寿泉堂香久山病院（地域医療）

## ●協力施設

桜井診療所	長岐医院	根本クリニック
福島県立宮下病院	福島県立南会津病院	朝日診療所
寿泉堂クリニック	スプリングガーデンあさか	他2施設

## ■教育体制

- 採用時のオリエンテーション（1週間）
- 院内の研修会・勉強会
  - 医局抄読会（毎月）、症例検討会（毎月）、臨床病理検討会（年6回）、医学英語研修（毎週水曜日）、朝の勉強会（毎週火曜日）、各診療科カンファランス、外部講師によるレクチャー（平成28年：消化器内科、小児科、救急科、循環器内科、腎臓高血圧内科、放射線科）、寿泉堂病院学会にて症例発表、シミュレーター実習、接遇・医療安全・院内感染対策・保険診療に関する研修会
- 院外のセミナー・研修会
  - 各種学会にて発表可能
  - 各種学会参加可能（参加費、交通費支給）

## ■メッセージ

- 指導医から一言
 

当院の研修では、医師として自立することを目指します。将来の専門性に関わらずに様々な疾病や病態に適切に対応できるように、基本的な診療能力を身につけていただきます。特殊な疾患よりも一般的な疾患に十分に対応できるようになって欲しいと思います。プログラムは選択科を多くし、自由度を高めています。必修として、内科を6か月間と精神科、救急部門、麻酔科、外科を回り、また、救急直直も行います。救急はもちろん指導医がついています。各科との垣根が低く、指導医と研修医が1対1の関係となり、より安心と信頼のもと良好な充実した研修が送れます。一般的な疾患はもちろん、市内の輪番制の担当日を中心に救急診療を行うことにより、救急疾患の経験も積むことができます。駅前にある立地条件を活かして、研修会等に積極的に参加し最新の情報や知識を習得することも可能であり、有意義な研修が送れると考えています。
- 先輩研修医から一言
 

当院は地域医療において大きな役割を担う急性期病院です。救急外来では初期から研修医が主体となって診療を行うため、数多くの症例を経験することが出来ます。はじめは緊張や不安もありますが、先輩研修医や指導医のサポートがあるので、実際は安心して診療に臨めます。当院の研修は実践型で、様々な手技を経験することが出来ます。マンツーマン指導が基本なので、指導医の診察・治療に対する考え方をしっかりと学べますし、疑問を一つずつ解決していくことで有意義な研修をすることが出来ます。また、コメディカルも研修に協力的なので、薬剤師さんに点滴の組み方のアドバイスをもらったり、検査室でグラム染色をしたりと、自分次第で研修の幅がとてま広くなります。それ以外にも多くの魅力・特徴がありますが、実際に一度見学に来ていただくのが一番だと思います。お待ちしております！

## ■病院理念

公益財団法人湯浅報恩会の理念  
 私たち湯浅報恩会は、「患者さん第一」を基本とし、この地における近代医療の先駆けとしての誇りと責任をもって、地域医療の向上のため貢献します

### 寿泉堂総合病院の基本方針

1. 患者さんの権利・意思を尊重し、患者さんとの信頼関係を築きながら患者さんとともに歩む医療を実践する
2. 急性期病院として、安全で質の高い、高度な専門的医療を提供するために、常に医療スタッフと医療機器・設備の充実を図る
3. 地域医療支援病院として、地域の救急医療体制に協力し、他医療機関との密接な連携と機能分担を推進し、地域医療の向上に努める
4. 職員の教育と研修に力を注ぎ、職員が仕事を通じて使命感・成長感・達成感を得られ、病院とともに成長していける組織風土を醸成する
5. 医療を通じた地域貢献を継続するために、健全で透明性の高い経営を行う

## ■診療内容

●診療の特徴、実績  
 病床数305床と中規模の総合病院で、全床が急性期病床です。そのため救急車搬送患者、急病患者および紹介患者の受け入れに力を注ぎ、地域の診療所、病院、各施設と積極的に連携を強め、また郡山市二次救急病院として救急医療に関わっています。当院は寿泉堂香久山病院（療養型）や介護老人福祉施設などの関連施設も抱えているので、プライマリ・ケアや救急のみならず介護や福祉の面でも広範囲に研修できます。

### ●診療科・医師数

診療科名	総内	糖内	循内	呼内	消内	リウマチ膠原病	小児	外	脳外	泌尿	整外	形外	耳鼻	眼	産婦
医師数	2	1	3	2	2	1	3	5	2	2	2	2	2	2	5
指導医数	2	1	2	2	2	1	2	3	1	1	1	1	1	1	2

診療科名	麻酔	画診	病理	検査	歯口外	研修医	合計
医師数	2	1	1	1	4	11	56
指導医数	2	1	1	0	2	0	29

- 許可病床数：305床（一般 305床）
- 入院患者数（1日平均）：230.7人
- 外来患者数（1日平均）：497.9人
- 平均在院日数（一般病床）：11.1日
- 分娩件数：904件
- 救急医療の提供実績：二次救急病院として地域の協議会に加入し、輪番制により救急医療に対応するとともに24時間の救急診療を行っており、年間救急車受入件数も2,500件程受け入れています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：8,927件
- 救急車取扱件数：2,460件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト（REIS）をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】458,400円（月額、手当・税込）、6,025,000円（年額、賞与・手当・税込）  
 【2年次】490,000円（月額、手当・税込）、7,200,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険組合、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り（住宅手当50,000円）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開園時間7:30～19:30、救急指定日の夜間保育可能）  
 【その他】短時間勤務制度、産休制度（産前6週、産後8週）、育児休暇制度（1年）

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：6名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込み）証明書 (3)臨床研修申込書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年8月中旬頃の予定
- 試験実施日：本人と協議の上、面接日を設定する。

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 6名 うち女性 3名  
 2年次 4名 うち女性 2名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、高知大学、島根大学
- 当直回数：月平均4回（1年次：救急指定日（内科・外科の日直・当直）、2年次：救急指定日（内科準夜当直））
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、循環器内科、呼吸器内科、小児科、外科、整形外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科）

<b>申し込み、問い合わせ先</b> 公益財団法人湯浅報恩会 寿泉堂総合病院 総務課	963-8585 福島県郡山市駅前1丁目1番17号 TEL 024-932-6363 FAX 024-939-3303 E-mail <a href="mailto:soumuka2@jusendo.or.jp">soumuka2@jusendo.or.jp</a>
--	---

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、研修を通して初期臨床研修到達目標の習得と心技両面において各科領域にわたる優秀な臨床医育成を目的とし、当院の特性による豊富なプライマリ・ケアの修練を特徴としています。

研修は、①豊富な症例の中少数精鋭で研修②総合的なプライマリ・ケアの習得・実践③専門医にタイミング良く的確にコンサルとできる判断力の育成④自由選択科での将来の専門性を目指した研修⑤自由度の高いプログラムをコンセプトとしています。

ほぼ全科を備えた総合病院であり、救急医療から悪性疾患や慢性疾患など幅広く対応しています。また、医局は各科共同のいわゆる「総合医局」の形態をとっており、いつでも情報交換のできるネットワークの良さがあります。

平成 27 年度より新設された白河総合診療アカデミーでは関西から 4 名の総合診療指導医を招聘し、初期臨床研修で十分な診断力を身に付けることができる医師の養成に力を入れています。

コメディカルを含めたスタッフ間のコミュニケーションが良いことも当院の特徴であり、病院全体で研修医を受け入れる態勢でお待ちしております。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：福島県厚生農業協同組合連合会白河厚生総合病院初期臨床研修プログラム／齋藤 富善
- 研修スケジュール 募集人数 6 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	内科系	内科系	内科系	内科系	内科系	内科系	救急 (総合診療科)	麻酔科	麻酔科	外科 産婦人科	外科 産婦人科	小児科
2 年次	地域医療	精神科 地域保健	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科	選択科

## ●協力型病院名（科目）

福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院（地域医療）	福島県立矢吹病院（精神科）
福島県立医科大学附属病院（リウマチ・膠原病内科、神経内科、腎臓内科、救急科）	太田西ノ内病院（リウマチ科、神経内科、腎臓内科、救急科）
大原総合病院（リウマチ科、神経内科、腎臓内科、救急科）	星総合病院（リウマチ科）

他 2 施設

## ●協力施設

福島県厚生農業協同組合連合会 坂下厚生総合病院	福島県厚生農業協同組合連合会 高田厚生病院	福島県厚生農業協同組合連合会 鹿島厚生病院
福島県厚生農業協同組合連合会 双葉厚生病院	福島県南保健福祉事務所	社会福祉法人恵愛福祉会特別養護老人ホーム寿光園
福島県赤十字血液センター	福島県立南会津病院	

## ■教育体制

- 研修医 1 名に対して指導医 1 名が指導を行います。
- 採用医オリエンテーション：1 週間、採血や縫合なども実技指導あり
  - 院内研修会等：症例発表会 1 回 / 3 ヶ月、CPC1 回 / 2 ヶ月、救急症例検討会 1 回 / 週、救急マニュアル研修会全 8 回、ミニレクチャー英文抄読会 等
  - 院外学会等：各種学会、セミナーに参加可、参加費や交通費の支給あり
  - 診療科ごとの検討会や勉強会があり、プレゼンテーションの機会多数

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院で初期研修を行うメリットについて 3 つ記します。一つは福島県南地域唯一の中核病院で、救急医療に力を入れているため初期の救急対応において豊富な症例を経験できることです。特に画像診断は 24 時間対応可能なため、画像診断のスキルは驚くほど上達します。二つ目は 6 名という少数で募集しているため、どの診療科をローテートしても症例数に偏りがなく十分に研修できることです。特に 2 年目は各自の希望に沿った自由度の高いプログラムを組むことができ、後期研修医以降のスキルアップにつながります。三つ目は平成 27 年度に新設された白河総合診療アカデミーです。総合診療指導医 4 名を招聘し、初期研修の内科と救急に参画しております。初期研修中に十分な主治医力と診断力を身に付けることができます。

### ●先輩研修医から一言

初期研修医の募集定員が 6 名と少数であるため、指導医の先生方から丁寧な指導を受けることができます。症例や手技についても研修医同士で取り合うことなく、経験する機会が十分にあります。当院は福島県地方と栃木県北部における唯一の二次救急病院であるため、豊富な症例が集まり、多くの common disease を経験できます。これは、プライマリ・ケアを学ぶ上でも良い環境であると思います。当院での当直は全科当直となっており、様々な疾患に対する初期対応能力を身につけることができます。また、個人が経験した興味深い症例については、週 1 回の救急症例検討会で各科の先生方からのコメントをいただきながらフィードバックし、症例を共有することで理解を深めています。

まずは一度見学に来て、雰囲気を感じてみてください。

## ■病院理念

地域を守り、地域の皆様に愛される病院を目指します

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

病床数は 471 床と中規模であり、精神科を除くほぼ全診療科を揃えた当地域で唯一の総合病院です。地域中核病院であり、多くの common disease 患者さんも来院し、また紹介患者を含め 1 日平均 8 台の救急搬送があります。ICU、NICU、リニアック治療室、PET を含む核医学施設、外来化学療法室などを備え、救急医療から悪性疾患や慢性疾患まで幅広く対応しています。

### ●診療科・医師数

診療科名	総合診療科	第一内科	第二内科	血液内科	第三内科	呼吸器外科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	皮膚科
医師数	9	4	6	2	2	1	4	5	3	1	5	1	2	1
指導医数	2	3	5	1	2	1	2	4	1	1	4	1	2	1

診療科名	泌尿器科	放射線科	麻酔科	病理診断科	検体検査	合計
医師数	3	3	2	2	1	57
指導医数	2	3	1	1	0	37

- 許可病床数：471 床（一般 455 床、結核 12 床、感染症 4 床）
- 入院患者数（1 日平均）：321 人
- 外来患者数（1 日平均）：781 人
- 平均在院日数（一般病床）：14.1 日
- 分娩件数：768 件
- 救急医療の提供実績：2 次医療圏唯一の中核病院として福島県南の救急医療を担っています。夜間休日の救急外来においては内科外科に分かれた二診体制で診療にあたり、昼夜を問わず多くの救急患者を受け入れています。
- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：14,716 件
- 救急車取扱件数：2,937 件
- 救急医療を行う診療科：眼科を除く全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】408,600 円（月額、手当・税込）、6,300,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】433,600 円（月額、手当・税込）、6,900,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会健康保険、厚生年金保険、雇用保険、労働者災害補償保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開園時間 7:30 - 19:00）  
【その他】育児休業制度、育児短時間制度、育児のための所定外労働免除制度、子の看護休暇 等

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：6 名
- 応募資格：平成 30 年医師免許取得見込みの者
- 応募必要書類：(1) 研修申込書 (2) 履歴書 (3) 卒業見込み証明書または卒業証明書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：第 1 回：平成 29 年 7 月 26 日 第 2 回：平成 29 年 8 月 2 日 第 3 回：平成 29 年 8 月 16 日
- 試験実施日：第 1 回：平成 29 年 8 月 2 日 第 2 回：平成 29 年 8 月 9 日 第 3 回：平成 29 年 8 月 23 日

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 6 名 うち女性 1 名  
2 年次 1 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：東北大学、福島県立医科大学
- 当直回数：4 回（1 年次 6 月から開始、研修医は副直とする）
- 研修修了後の進路：白河厚生総合病院、東北大学、福島県立医科大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合診療科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、泌尿器科、小児科、放射線科、脳神経外科、産婦人科）

## ■申し込み、問い合わせ先

福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院  
臨床研修センター

961-0005 福島県白河市豊地上弥次郎 2 番地 1  
TEL 0248-22-2211 FAX 0248-22-2218  
E-mail kenshu1@shirakawa-kosei.jp

## ●当院の臨床研修の特色

当院の研修プログラムは、研修医一人ひとりの希望に柔軟に対応しています。横断的なプライマリ・ケアの習得、また将来を見据えた専門的な研修にも対応しています。ゆとりある環境の中で、効率的、実践的に診療能力を身に付けられるよう計画しています。院内における研修医カンファレンス、BLS講習、CPC（病理検討会）を積極的に開催しています。

☆必修、選択必修に加え、2年目に最長で1ヶ月間の選択科目を自由に研修することができます。

- ◆地域の中核病院で、初期診療から救急医療、在宅医療など幅広く経験可能なプログラムです。
- ◆少人数のマンツーマン教育で、豊富な症例と経験豊かな指導、診療科の枠を超えた総合的な研修が可能です。
- ◆早い段階から診察・手技を経験できます。内視鏡の症例は3か月で100例以上を経験できます。
- ◆院内における研修医カンファレンス、BLS講習、CPC（病理検討会）を積極的に開催しています。
- ◆地域医療では、福島医大・地域家庭医療部やへき地診療所など、地域医療の第一線で診療に携わることができます。
- ◆研修医一人ひとりに配布するIpadでの学習プログラムのフリー利用、手技シミュレーターでの実技指導も開催しています。
- ◆院外での学会、研修会への参加を奨励。参加費、旅費を全額支給しています。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：公立藤田総合病院初期臨床研修プログラム（選択コース）／近藤祐一郎（副院長）
- 研修スケジュール 募集人数6名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						麻酔科					
2年次	地域医療						選択科					

### ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（救急科、産婦人科、皮膚科、放射線科、病理科）	福島赤十字病院（内科、循環器科）
財団法人桜ヶ丘病院（精神科）	北福島医療センター（内科、外科（乳腺外科））

### ●協力施設

保原中央クリニック	七ヶ宿国民健康保険診療所	西会津町国民健康保険診療所
特別養護老人ホームあつかし荘	社会福祉法人コクーン	福島県立宮下病院
福島県立南会津病院	只見町国民健康保険朝日診療所	

## ■教育体制

- ①シミュレーションセンター設置。手技シミュレーターでの実技指導。
- ②採用時オリエンテーション（看護師など他職種と共に行い、広い仲間づくりを行います）
- ③各研修科ではマンツーマンの指導体制のもと、各診療科カンファレンス（1～2回週）
- ④研修医カンファレンス（1回/月）
- ⑤放射線科医による画像診断カンファレンス（1回/週）
- ⑥BLS研修、CPC（病理検討会）、救急症例検討会（救急隊と合同）
- ⑦文献検索：医中誌 web。
- ⑧Ipadを研修医一人一台配布。救急画像の配信。レジデントJapanのフリー利用。
- ⑨研修医セミナー（他病院からスーパードクターを招聘）
- ⑩院外での学会、研修会への参加を奨励。参加費、旅費を全額支給。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院はベッド数311床を有する福島県東北地域の中核病院です。指導医の多くは大学病院で助手以上を経験しており、教育に熱心な医師がたくさんいます。電子カルテ・オーダーリング・画像ファイリングが完備しており、救急医療体制が充実しています。さらに研修医が研修に集中できるように、宿舎は借り上げで病院の近くに準備してあります。各研修会への参加は、旅費等は病院が全て援助しています。また、以前より国保直診の病院として活動しており、国が推進している、地域包括ケアに積極的に取り組んでいます。是非、一度見学に来て下さい。お待ちしております。詳細は病院のHPで参照下さい。

### ●先輩研修医から一言

公立藤田総合病院は研修しやすい病院です。中規模病院の魅力は、医師はもちろん、その他の病院スタッフは半年もすれば顔見知りになることです。病院全体で研修医を大切に作る風土があり、技師さんや看護師の方々も些細な疑問に快く答えてくださいます。また当院は地域の中核病院でありcommon disease はもちろんですが、貴重な疾患にもしばしば出会うことができ、研修はマンネリ化せず刺激的です。内視鏡検査など手技を早い内から豊富に経験できるのが魅力的です。

病院内はどこも綺麗で過ごしやすく、医局の個人ブースは居心地の良さと便利さを兼ね備えています。研修医が住むマンションは病院、駅、ICが近く便利です。研修スケジュールは基本的に自分で組めますので、自由度が高いです。ぜひ一度病院見学にお越し下さい。お待ちしております！

## ■病院理念

■患者さん中心の医療を行います■  
「患者さん中心の医療」を行うにあたり、職種が何であろうと自分の持ち場を大切に思い、そこで真心をつくす、思いやりと気遣いを忘れず、その場その場で一隅を照らす人を病院の宝としています。そういう人が何人いるか、を病院が豊かであるバロメーターとし、患者さんとの信頼関係を深めています。

このような基盤の上に立ち、安全で良質な医療の提供に努め、医療水準の向上を常に目指しております。また、病院で仕事をする職員にとっても活力に満ちた働きがいのある病院であることを基本方針に掲げ、健全な経営にも努めております。職員同士の『和』を大切に、チーム医療を最重要視しながら、親睦を深める行事を通じ職員同士の繋がりを深めています。

病院運営において、時代が変わっても変わってはいけないのとして職員同士の『和』をいつまでも大切にしていきたいと考えています。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
福島県東北地方の中核病院として、地域医療・救急医療の充実に貢献しています。  
■最新鋭の医療体制：64列CT、HIFU（高密度焦点式超音波）療法、ESWL（体外衝撃波結石破碎装置）  
■充実したIT環境：タブレットPC・電子カルテ・オーダーリング・画像ファイルなど  
■良質な医療提供：急性期から回復期リハビリまでの充実した体制、地域包括ケアを提供しております。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	腎臓内科	循環器科	消化器科	精神科	小児科	外科	整形外科	脳外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科	耳鼻科	麻酔科	眼科	合計
医師数	4	2	1	5	1	2	4	3	2	-	2	-	-	2	-	28
指導医数	2	1	1	4	1	2	3	3	2	-	1	-	-	2	-	22

- 許可病床数：311床（一般 299床、結核 12床）
- 入院患者数（1日平均）：239.1人
- 外来患者数（1日平均）：677.9人
- 平均在院日数（一般病床）：19.4日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：2次救急医療機関として、福島県東北地域と宮城県仙南地域の一部の救急医療を担っており、産婦人科を除く全ての科で救急医療に対応しています。様々な救急疾患を経験することができ、指導医のもと救急疾患に対応できる能力を十分に身に付けることができます。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：6,151件
- 救急車取扱件数：1,533件
- 救急医療を行う診療科：内科、腎臓内科、消化器科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、麻酔科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】500,000円（月額、手当・税込）、6,550,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】530,000円（月額、手当・税込）、7,000,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会管掌健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】有り
- 宿舎の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】短時間勤務制度、子ども預かりサービス費用の補助

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：6名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業（見込み）証明書 (3)成績証明書 (4)初期研修申込書  
※指定応募用紙取り寄せ必要（ホームページからダウンロード可）

- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年7月末日の予定
- 試験実施日：平成29年8月上旬の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 3名 うち女性 2名  
2年次 2名 うち女性 1名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、昭和大学
- 当直回数：月平均4回（1年次、2年次とも指導医、上級医とともに当直）
- 研修修了後の進路：福島県立医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、消化器科、整形外科、脳神経外科）

## ■申し込み、問い合わせ先

公立藤田総合病院  
総務課

969-1793 福島県伊達郡国見町大字塚野目字三本木14  
TEL 024-585-2121 FAX 024-585-5892  
E-mail [soumu2@fujita-hp.jp](mailto:soumu2@fujita-hp.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応出来るようプライマリ・ケアの基本的な診療能力（態度・技能・知識）を身につけ、各診療科の枠を超えた救急医療・総合診療・集学的治療を実践するための基本を習得することが出来る。また、第3次救命救急の指定を受けているので、必修プログラム3ヶ月の救命救急研修は充実したものになる。当院は救急医療・急性期医療及び地域保健施設（特別養護老人ホーム、介護老人保健施設など）を併設する医療機関であり、一貫した医療体系を経験することができる。さらに、総合的ながん診療と緩和医療を経験できる。研修プログラムは、内科6ヶ月、救命救急科3ヶ月、地域医療1ヶ月の必修科の研修の他に、選択必修科として、外科2ヶ月、麻酔科2ヶ月、産婦人科1ヶ月、精神科1ヶ月の研修を行います。残りの8ヶ月は、救命救急、整形外科、産婦人科、外科、消化器科、循環器科、泌尿器科、脳神経外科、小児科、病理部、放射線科、地域保健から複数の選択が可能です。指導体制は、研修医1名に1名の指導医が指導にあたります。やる気のある方、お待ちしております。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：会津中央病院臨床研修プログラム／島貫 公義
- 研修スケジュール 募集人数 5名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内科						救急			外科			麻酔科
2年次	麻酔科	精神科	産婦人科	地域医療	選択科								

## ●協力型病院名（科目）

つるが松窪病院（精神科）	有隣病院（小児科、地域医療）
福島県立医科大学（小児外科、疼痛麻酔科、心臓血管外科）	福島県立医科大学会津医療センター附属病院（内科、外科、整形外科）
竹田総合病院（内科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科他14診療科など）	

## ●協力施設

只見町国民健康保険朝日診療所	医療法人社団新生会佐藤病院	磐梯町保健医療福祉センター
医療法人いづかファミリークリニック	猪苗代町立猪苗代病院	福島県赤十字血液センター
福島県会津保健福祉事務所	南相馬市立総合病院	

## ■教育体制

- ・研修医セミナーとして、月2～3回、1時間程度、診断治療の基礎について、各診療科毎に講義を行っています。
- ・2ヶ月に1回、臨床研修医、臨床研修医委員会委員及び指導医との間で報告会を行い、研修についての意見交換会をしております。
- ・月1回のCPCと週1回（水）の腫瘍カンファレンスを行っています。
- ・毎月開催される医局会にて、プレゼンテーションを実施し、研修医の発表の場を設けております。
- ・学会、他研修などへの参加についても積極的に参加させています。
- ・田舎の総合病院でもモチベーションの高い研修医を育て、どここの後期研修先でも評価の高い研修医を育成します。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

各診療科の枠を超えた救急医療・総合診療・集学的治療を実践させるための基本を学ぶことが出来る事と、本院は、救急医療（第三次救命救急センター）・急性期医療施設に長期療養型施設及び地域保健医療施設を併設する医療機関であり、急性期から慢性期、そして在宅医療までの一貫した医療体系を経験することが可能です。意欲を持って研修に取り組まれる方をお待ちしております。

### ●先輩研修医から一言

これからマッチングに向けて病院見学を検討する時期だと思います。研修病院の数は多く、どの病院も魅力的に（同じに）見えてどこから見学すればいいか迷うことと思います。実際に見学に行ってもどの病院でも同じような宣伝文句を並べられ、正直何を基準に病院を選んでいいか益々わからなくなってしまうことと思います。実際僕もそうでしたし、他の研修医の先生方も同じように感じた事と思います。では最終的にどのように病院を選んだかという研修医の数と病院の規模の比でした。研修医の数は多過ぎず少な過ぎない1学年5人前後で自分の希望する診療科があり三次救急まで取り扱っているような大規模病院、このような条件で全国の中から病院を探しました。幾つかヒットしたのですがその中でも一番自分に合っているなと感じたこの病院を選びました。

## ■病院理念

地域の基幹病院として、地域社会の医療福祉の向上と健康保持増進に貢献することを目指し、法令を遵守し安全な医療に努めると共に、全国にも目を向けた高度な医療を展開し、患者及び利用者様一人一人の要求に対応出来る医療を提供します。

高度な医療技術・医療設備を駆使し、確実なプロセスに基づいた安全で良質な医療と、より良い医療環境を整え、患者及び利用者様の早期回復が出来るように全職員で医療サービスの提供を致します。また、第三次救命救急センターを有する病院として、24時間体制で救急医療を行います。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は、急性期型病院として、第三次救命救急センターの開設、地域災害医療センター・東北ブロックエイズ拠点病院・臓器提供施設・がん診療連携拠点病院のそれぞれの指定を受けており、さらに、脳卒中センター・健診センター・循環器病センター・消化器病センターの機能を整備して地域のニーズに応えております。また、電子カルテシステム・オーダリングシステムの導入をし、大規模な放射線機器類の更新（320列CTの導入）と画像配信、ドクターカーの更新、ダ・ヴィンチ導入、ヘリポート開設、最新治療装置、研究設備を充実させております。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	呼吸器	消化器	循・心外	外	整形	形成	脳外	産婦	麻酔・救命	病理	泌尿	放射線科	合計	合計
医師数	2	1	4	5	6	7	2	5	4	11	1	2	3	53	52
指導医数	1	1	1	3	4	3	0	1	3	7	0	0	1	25	18

- 許可病床数：887床（一般713床、療養174床）
- 入院患者数（1日平均）：638.2人
- 外来患者数（1日平均）：947.8人
- 平均在院日数（一般病床）：18日
- 分娩件数：457件
- 救急医療の提供実績：平成27年7月に救命救急センターを竣工。通信システム（ホットライン、消防無線、司令端末、GPSシステム）、救急搬送車輜（ドクターカー、高規格救急車、DMATカー、ヘリコプター）を配備させるとともに、地域消防本部と救急ワークステーションを設け、日本の新たな救急システムの確立を目指し取り組んでおります。

- 医療法上の位置づけ：3次医療機関
- 救急取扱件数：11,938件
- 救急車取扱件数：3,764件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト（REIS）をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】500,000円（月額、手当・税込）、6,000,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】597,333円（月額、手当・税込）、7,168,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：会津中央健康保険組合、厚生年金保険、年金基金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（通常保育7：00～18：00、延長保育、夜間保育、病児保育、一時保育）  
【その他】育児中の女性医師等に対する時間外（休日・当直等）の免除、産休または育休後に復帰した医師への短時間勤務制度導入

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：5名
- 応募資格：平成30年医師国家試験合格見込者
- 応募必要書類：(1)履歴書、(2)卒業見込み証明書、(3)健康診断書、(4)成績証明書
- 試験内容：(1)面接試験、(2)書類審査
- 申込締切日：平成29年9月下旬の予定
- 試験実施日：平成29年8月22日（火）。9月5日（火）、9月26日（火）、その他（都合の悪い方は、ご連絡下さい。調整させて頂きます。）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中の人数：1年次 4名 うち女性 0名  
2年次 4名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、東京大学、日本医科大学、宮崎大学、高知大学、新潟大学
- 当直回数：2回
- 研修終了後の進路：会津中央病院消化器科、東京大学
- 後期研修プログラムの有無：有り（救命救急科、外科、消化器科、脳神経外科、整形外科、産婦人科、麻酔科、放射線科、病理科、循環器科、呼吸器科）

## ■申し込み、問い合わせ先

一般財団法人温知会 会津中央病院

総務課

965-8611 福島県会津若松市鶴賀町1-1  
TEL 0242-25-1515 FAX 0242-24-1529  
E-mail [ishiguro@onchikai.jp](mailto:ishiguro@onchikai.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 「福島県立医科大学 会津医療センター」は、平成 25 年 5 月に診療・研究・教育機能を持つ施設として新たに誕生しました。大学附属施設として最先端の医療を提供し、学生・研修医の教育・研究の場となっています。
- ① 一人の患者様に対して、外来診療から入院・検査・治療、退院後のフォローまで一貫した研修を行う。
- ② 医師としての態度・知識はもちろんのこと、基本的な診察法・手技の習得にも重点を置く。
- ③ 各診療科の垣根を取り除いた研修が可能で、プライマリ・ケアに重点を置いた外来研修も行う。また研修開始の 1 ヶ月間オリエンテーションを行い、チーム医療としての院内多職種の仕事体験および緊急検体検査・生理機能検査、グラム染色や単純 X 線撮影の手技の習得も行う。
- ④ 指導体制はマンツーマンを基本とする。臨床研修委員会の下部組織に臨床研修運営部会を置き、研修を支援する。研修医の希望に沿った研修を行うため、研修の最初に選択科とその期間を各研修医と協議のうえ決定する。
- ⑤ 自治医科大学附属病院及び福島県立医科大学附属病院での臨床研修では、当院で経験することが困難でかつ経験が望ましい専門領域を選択して研修できる。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター臨床研修プログラム／宗像 源之
- 研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
1 年次	オリエンテーション	総合内科						麻酔科	外科		救急部門		
2 年次	救急部門	地域医療	選択必修(1～4 か月)・選択科目(6～9 か月)・合計 10 か月										

## ●協力型病院名（科目）

公立大学法人福島県立医科大学附属病院（神経内科他）	一般財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院（救急・麻酔科他）
一般財団法人竹田健康財団 竹田総合病院（小児科他）	一般財団法人温知会 会津中央病院（産婦人科、救急部門他）
医療法人明精会 会津西病院（精神科）	自治医科大学附属病院（内科専門領域、外科専門領域、放射線科）

## ●協力施設

福島県立宮下病院	只見町国民健康保険朝日診療所	福島県会津保健福祉事務所
福島県赤十字血液センター	南相馬市立病院	米沢市立病院
福島県立南会津病院		

## ■教育体制

- ①オリエンテーション：最初の約一か月間をオリエンテーションに充てています。各診療科のプライマリ・ケアに対する実践的な講義を受けながら、院内多職種の業務を体験しチーム医療を学びます。またこの間にグラム染色・緊急検体検査・胸部 X 線撮影などの手技も習得し、指導医とともに当直研修も開始されます。
- ②院内勉強会：心電図セミナー・漢方勉強会、ER 勉強会・骨髄像検討会・胆膵症例カンファレンス・多職種カンファレンス・胸部疾患画像研究会・内科グランドカンファレンス、院内 CVC セミナー、外科小腸大腸肛門科カンファレンス・Neuroconference、EBM 勉強会…
- ③参加を推奨している院外の講習会・セミナー等：FACE・IDATEN・ER アップデート・診断推論セミナー・循環器フジカルイグザミネーション講習会・BLS・ACLS・ICLS・PTLS・JATEC・心電図検定…

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

当院は 2013 年 5 月に福島県立医科大学会津医療センターとして生まれ変わりました。そして 100 年以上培ってきたへき地医療の拠点病院としての側面に、新たに大学病院としての高い専門性を持つ医療機関、研修医・医学部学生・鍼灸研修生に対する教育機関、そして先端医療を担う研究機関としての側面が加わりました。研修医教育に関しては、チューター制を導入したマンツーマン方式による“See one, Do one, Teach one”を意識した教育方針になっています。古い体質の各科の垣根はなく、新しい専門医制度に対応した体制になっています。繰り返しになりますが、①基本的な診察法・手技の習得に重点を置いた研修  
②活発な院内勉強会・セミナー ③院外の講習会やセミナー、関連施設での院外研修への積極的参加 この3つが当院の研修のポイントです。是非一度、見学に来てください！

### ●先輩研修医から一言

当院では基本的な診察法、手技の習得に重点を置いた研修をしています。初期研修終了後どんな科に進んでも必要となるプライマリ・ケアの知識や技術をはじめ、内視鏡や腹部エコーなど多くの症例を1例1例丁寧な指導のもとに経験することができます。比較的小規模の病院であり、多職種の方々に気軽に相談させてもらえる点も研修医としてはありがたいです。一方、大学附属病院であるため院内のカンファレンス・勉強会が盛んに行われており、専門性の高い研修を受けることもできます。また病院外での勉強会・セミナー・学会等への参加や他病院での研修も選択可能であり、自分の望んだ通り研修を行える環境が整っています。何か質問がございましたら当院のホームページをご覧ください、いつでも御連絡ください。見学も大歓迎です！

## ■病院理念

高度な先進医療の研究・開発に取り組み、人間性豊かな優れた医療人の育成に努め、患者さんに安全で質の高い医療を提供し、新しい地域医療の創造に貢献します。

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

大学附属施設として最先端の医療を提供し、学生・研修医の教育・研究の場となっている。また感染症対策・へき地医療支援などの政策医療に取り組みとともに、地域医療機関との連携・協力により、会津地域全体の医療を支える機能を果たしている。さらに専門領域に特化した高度医療の提供や、がん患者に快適な療養環境を提供する「緩和ケア病棟」を設置している。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	循	血内	消	小腸・大腸・肛門科	糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科	感染症・呼吸器内科	漢方内科	外	整	皮	耳鼻	麻酔	心身	放射線	病理	合計
医師数	3	4	2	5	6	3	3	3	5	5	1	3	2	3	1	1	50
指導医数	3	4	2	4	6	3	3	2	3	2	1	3	2	2	0	1	41

- 許可病床数：226 床（一般 204 床、結核 14 床、感染症 8 床）
- 入院患者数（1 日平均）：167.3 人
- 外来患者数（1 日平均）：525 人
- 平均在院日数（一般病床）：13.1 日
- 分娩件数：0 件
- 救急医療の提供実績：会津医療圏の 2 次医療機関として専用の救急室を設けて治療に当たっている。救急の輪番は会津若松医療圏年 90 回、喜多方広域医療圏は年 12 回対応している。1 日当たりの取扱件数は多くはありませんが、全診療科が対応可能です。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
- 救急取扱件数：2,276 件
- 救急車取扱件数：480 件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1 年次】450,000 円（月額、手当・税込）、5,400,000 円（年額、賞与・手当・税込）  
【2 年次】450,000 円（月額、手当・税込）、5,400,000 円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：公立学校共済組合、地方公務員災害補償法、雇用保険加入
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し（住居手当有り：上限 27,000 円）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】有り（開所時間：7:15～17:30 20 時まで延長保育可能）  
【その他】早出遅出出勤制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4 名
- 応募資格：平成 30 年度医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1) 選考試験申込書 (2) 履歴書 (3) 卒業（見込）証明書 (4) 成績証明書
- 試験内容：(1) 面接 (2) 小論文
- 申込締切日：平成 29 年 8 月中旬頃（予定）
- 試験実施日：平成 29 年 8 月下旬～9 月上旬（予定）

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 3 名 うち女性 0 名  
2 年次 2 名 うち女性 0 名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、自治医科大学、新潟大学
- 当直回数：4 回
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学附属病院、福島県立医科大学会津医療センター附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（総合内科、漢方内科、循環器内科、血液内科、消化器内科、感染症・呼吸器内科、糖尿病・内分泌代謝・腎臓内科、心身医療科、小腸・大腸・肛門科、外科、整形外科・脊椎外科、麻酔科、病理診断科）

## ■申し込み、問い合わせ先

公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院  
経営企画室

965-3492 福島県会津若松市河東町谷沢字前田 21 番地 2  
TEL 0242-75-2242 FAX 0242-75-2150  
E-mail a-keiei@fmu.ac.jp

## ●当院の臨床研修の特色

福島県の東北地域における中核病院として、診療および2次救急医療を担っていることから、臨床研修を行うことで超急性期から急性期疾患、慢性疾患、高齢者・終末期医療のプライマリ・ケアに必要な「診療能力、態度、技術、知識」を習得できます。

当院の研修プログラムは「内科・救急・地域医療」を必修とし、「外科、産婦人科、小児科、精神科、麻酔科」を選択必修としています。3年目以降に専攻したい診療科を、初期研修中に幅広く研修することができるよう自由選択期間を11ヶ月に設定しています。

研修プログラムは2コースあり、「選択重視プログラム」は基本的に当院で研修を行います。平成23年度より開始した「県北ネットワークプログラム」では、福島県北地域の臨床研修病院を協力病院とし、各病院と連携して豊富な症例や経験豊かな指導医のもと研修を行うことができます。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム）

- プログラム名／プログラム責任者：福島赤十字病院選択重視プログラム／鈴木 恭一
- 研修スケジュール 募集人数4名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			選択必修		
2年次	地域医療			選択科								

- プログラム名／プログラム責任者：福島赤十字病院県北ネットワークプログラム／鈴木 恭一
- 研修スケジュール 募集人数2名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科						救急部門			選択必修		
2年次	地域医療			選択科								

## ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（全診療科）	大原総合病院（内科、消化器内科、呼吸器科、循環器科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、放射線科、病理診断科）
医療生協わたり病院（内科、消化器科、循環器科、小児科）	公立藤田総合病院（内科、消化器科、腎臓内科、外科、整形外科、脳神経外科、小児科、麻酔科、泌尿器科）
前橋赤十字病院（小児科）	武蔵野赤十字病院（感染症科）

他3施設

## ●協力施設

福島県立宮下病院	福島県立南会津病院	只見町国民健康保険朝日診療所
南相馬市立総合病院	ふれあいクリニックさくらみず	生協いいの診療所
福島県赤十字血液センター	福島県労働保健センター	

他2施設

## ■教育体制

- |                    |                         |
|--------------------|-------------------------|
| ●採用時オリエンテーション（1週間） | ●OSCE（年1回）              |
| ●研修医系統講義（月2回）      | ●医療安全・院内感染に関する研修会       |
| ●各科カンファレンス         | ●医局勉強会                  |
| ●救急症例検討会（月2回）      | ●日本赤十字社福島県支部災害救護訓練（年1回） |
| ●BLS・ACLS講習会（年1回）  | ●赤十字病院研修医研修会（年1回）       |
| ●CPC（年2回）          | ●学会・研究会等参加（旅費・参加費支給）    |

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

「救急搬送受入の要請があったら断らない」をモットーとし、福島県北地域の2次救急指定病院の中で救急車の搬入台数は当院が最多です。

CT・MRI・アンギオの機器を複数備え、救急患者の迅速な検査・診断ができるよう設備も万全です。また、県内でも数少ない精神科病棟と有する病院の1つとして、多くの外来・入院患者を診療しています。

現在研修医は13名在籍し、福島県立医大や他病院からの研修医も受け入れており、日々切磋琢磨しながら医学に励んでいます。彼らに刺激され、貴重な2年間を無駄にさせぬよう指導医も常日頃から研修医中心の治療を心がけ、豊富な症例を経験できるよう努力しています。ぜひ当院での研修お待ちしております！

### ●先輩研修医から一言

指導医やコメディカルの方から暖かく丁寧な指導が受けられ、職員の距離が近く病院全体で研修医を育てるとてもアットホームな病院です。研修医室も設備が整っており、研修医同士で相談しやすい環境にあります。

救急車の搬入台数が福島県北地域最多なので、幅広い症例を経験できる事も魅力の1つです。隔週土曜には勉強会があり、各科の先生から初期対応や救急処置について学ぶ機会があります。週休2日制のため、休日は勉強、趣味、旅行とon/offのある生活を送ることが可能です。他研修医との勉強会やイベントが定期的に行われ、情報交換や交流を深める良い機会となり刺激を受けています。先生や研修担当の方は日頃から研修医に耳を傾け、より良い研修について常に考えてくれています。

ぜひ福島赤十字病院で研修しませんか。まずは見学からお待ちしております！

## ■病院理念

わたしたちは、いのちと健康、尊厳を守るため、より良い医療を目指します。

- ①患者さま中心の医療
- ②良質な医療の提供
- ③地域医療機関との連携
- ④救急医療の充実
- ⑤災害時の救護活動
- ⑥原子力災害対応機能の充実
- ⑦経営の健全化

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
福島県の東北地域に位置する福島市の中核病院で地域災害拠点病院に指定され、2次救急輪番病院群においては中心的な役割を担っている。また、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の社会福祉部門も併設している。

### ●診療科・医師数

診療科名	内	消	糖	循	神	外	呼外	整	脳	心外	血外	産	小	皮	耳
医師数	3	2	1	4	2	3	2	3	4	1	1	3	1	1	3
指導医数	3	1	1	3	2	2	1	2	3	1	1	2	1	1	1

診療科名	麻	精	放	合計
医師数	2	3	1	40
指導医数	2	2	0	29

- 許可病床数：348床（一般303床、精神39床、感染症6床）
- 入院患者数（1日平均）：273.2人
- 外来患者数（1日平均）：622人
- 平均在院日数（一般病床）：13.8日
- 分娩件数：253件
- 救急医療の提供実績：2次救急指定病院として救急搬送受入数が福島県北地域で最多の実績を残しています。先進医療及び地域の救急医療を担う医療機関として一層の充実を図るため、高度医療機器を整備しており、今後の医療高度化と救急への対応力を身につけています。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：7,313件
- 救急車取扱件数：3,266件
- 救急医療を行う診療科：全診療科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。

※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。

※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】458,500円（月額、手当・税込）、6,030,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】538,500円（月額、手当・税込）、7,350,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：日本赤十字社健康保険、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：無し
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し  
【その他】短時間勤務制度

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：6名
- 応募資格：平成30年医師国家試験受験予定者
- 応募必要書類：(1)履歴書(2)卒業(見込)証明書(3)成績証明書(4)健康診断書
- 試験内容：面接
- 申込締切日：平成29年8月末の予定
- 試験実施日：平成29年8月中旬の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 6名 うち女性 4名  
2年次 7名 うち女性 3名
- 研修医の主な出身大学：福島県立医科大学、山形大学
- 当直回数：3回（当直は1年次5月から開始）
- 研修終了後の進路：福島県立医科大学附属病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ・膠原病・アレルギー）

## ■申し込み、問い合わせ先

福島赤十字病院  
総務課

960-8530 福島県福島市入江町11-31  
TEL 024-534-6101 FAX 024-534-5205  
E-mail [rinsko-kenshu@fukushima-med-jrc.jp](mailto:rinsko-kenshu@fukushima-med-jrc.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

当院は福島県浜通り北部の相馬市にあり、現在病床数230床の中規模病院です。昭和45年の開設以来相馬地方の中核病院として、医療を提供してきましたが、現在も地域に唯一の総合病院であり、地域における役割はさらに大きなものとなっています。地理上さらに高次の医療機関まではかなりの距離があり、地域完結型の医療拠点として、少ない医療資源の中で職員一同日夜奮闘しています。また近隣の福祉施設や訪問看護ステーションなどとも緊密に連携を取りながら診療にあたっており、地域の医療、福祉の中心として存在する日本の地域医療のまさにモデルケースともいえる病院です。当然初期研修の場としても、救急医療を中心とした急性期医療から、慢性期医療までの幅広い症例を経験することができます。また研修医といえども地域の医療を担う医療従事者の一員として、大きな役割をはたすことを期待されています。

研修プログラムは各研修医の希望を最大限尊重し作成しています。研修医の定員も少人数であるため、より自由度の高い研修プログラムの作成が可能です。また当然、当院では経験できない他の高次医療機関でのみ研修可能な領域（高次救急医療、周産母子医療など）もあるため、福島医大病院、東北大学病院、横浜市立大学病院に協力をお願いし、積極的に院外派遣による研修を行っています。地域に根差した医療から高度先進医療まで、ぜひ当院で研修してください。

## ■プログラム紹介（参考：平成29年度開始プログラム） ※平成30年度開始プログラム変更予定あり

- プログラム名／プログラム責任者：公立相馬総合病院初期臨床研修プログラム／八巻 英郎
- 研修スケジュール 募集人数3名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年次	内 科						救急部門			選択必修科目			
2年次	地域医療							選択科目					

## ●協力型病院名（科目）

福島県立医科大学附属病院（消化器内科、循環器内科、血液内科、リウマチ・膠原病内科、腎臓・高血圧内科、糖尿病・内分泌・代謝内科、呼吸器内科、神経内科、救急科、心臓血管外科、麻酔・疼痛緩和科、小児科、産婦人科、心身医療科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、皮膚科、眼科、放射線科、腫瘍内科）
東北大学病院（救急科、移植・再建・内視鏡外科、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、麻酔科、産婦人科、精神科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、皮膚科、眼科、放射線科、腫瘍内科）
南相馬市立総合病院（呼吸器科、神経内科、麻酔科、産婦人科、脳神経外科、災害医療）
横浜市立大学附属病院（救急科、麻酔科、産婦人科、精神科、小児科、リウマチ・血液・感染症内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、神経内科、消化器内科、肝胆脾消化器病学、一般外科、心臓血管外科、消化器・肝移植外科、臨床腫瘍科・乳腺外科、耳鼻咽喉科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、放射線科）
横浜市立大学附属市民総合医療センター（高度救命救急センター、総合周産期母子医療センター、小児総合医療センター、精神医療センター、リウマチ・膠原病センター、消化器病センター、心臓血管センター、呼吸器病センター、血液内科、腎臓・高血圧内科、内分泌・糖尿病内科、神経内科、乳腺・甲状腺外科、整形外科、皮膚科、泌尿器・腎移植科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、脳神経外科）

## ●協力施設

ふなばし内科クリニック	桜ヶ丘さいとう整形外科	松村クリニック
阿部クリニック	福島県立宮下病院	福島県立南会津病院
只見町国民健康保険朝日診療所	相馬中央病院	他5施設

## ■教育体制

- 初期オリエンテーション：最初の1週間は他職種の新規採用職員と共に基本的な業務、心構え、医療安全等について理解を深めます。
- その後内科研修のかたわら、看護・薬局・検査・放射線等コメディカルの業務を経験します。
- 症例勉強会：毎月1回
- 救急症例検討会：毎月1回
- 内科・外科合同カンファランス：毎週1回
- CPC（臨床病理検討会）：年1～2回：福島県立医科大学病理病態診断学講座からの講師派遣により実施
- 院内臨床研修委員会主催勉強会：随時（他の医療機関からもオープン参加方式で内部・外部講師による勉強会を行っています。）
- その他院外の講習会・セミナーへの参加を奨励しております。（会費・旅費全額支給）

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

小さな病院ではありますが、町に一つの総合病院である当院は、病院での医療を必要とする地域住民のほとんどがその門をたたきます。医療圏人口4万人の健康のすべてをあずかっていると一言でも過言ではありません。基本的な思考や技術もちろんですが、研修医の先生方にぜひ学んでいただきたいのは、地域の医療を支えるというのは実際にどうということなのかということと、少ない医療資源の中でそれをがんばって行っている医療従事者としての私たちの矜持です。少ない常勤医数ですがほとんどすべての医師が臨床研修指導医の資格を有し情熱をもって研修医の指導にあっています。小さい病院だからこそその大病院にはない指導医と研修医とのまさに顔のみえる関係での研修をお約束します。興味のある学生さんはぜひ一度見学にいらしてください。

### ●先輩研修医から一言

日本の医療の特徴として、中小規模病院中心で、多くは地方に存在するということが上げられると思います。実際、日本の病院ベッドの半分は300床以下の病院にあり、当院はその特徴の両方を備えているので、日本の医療の縮図である地方の現場を経験できるかと思います。病床数230床の当院では、各部門のスタッフの方々と直接顔の見えるかたちと一緒に仕事をさせて頂くことができます。初期研修を始めるにあたって、技術的な面も重要ではありますが、病院で働く上で、病院という組織の中に、どういった役割があるのかを間近で知ることができるのは、とてもプラスになるかと思います。また医師数も20名程なので、どの科で研修していても、他科の先生方に相談しやすい環境です。是非一度、当院を見学してみませんか？お待ちしております。

## ■病院理念

人間愛（思いやり）の精神で医療活動にあたり、地域社会の保健・福祉の充実に貢献します

## ■診療内容

### ●診療の特徴、実績

当院は、各科の連携を強化し診療に当たっております。特に、小児科・循環器科・泌尿器科は相馬地方のセンター的役割を果たしております。小児NICUを整備し、その外にも血管外科（腹部大動脈瘤手術など）、消化器科における内視鏡手術、循環器科における心臓カテーテル法、各種悪性腫瘍などの外科的療法を行っています。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	外科	整形外科	小児科	泌尿器科	皮膚科	合計
医師数	7	4	1	4	2	1	19
指導医数	5	3	1	4	1	0	13

- 許可病床数：230床（一般230床）
- 入院患者数（1日平均）：141.7人
- 外来患者数（1日平均）：484.2人
- 平均在院日数（一般病床）：13.4日
- 分娩件数：0件
- 救急医療の提供実績：相馬地方の6病院で救急輪番体制を構成し救急患者を受け入れております。また、平日の夜間時間帯に地元の医師会の先生方の応援による夜間救急診療を行い、地域医療の充実を図っております。

- 医療法上の位置づけ：2次医療機関
- 救急取扱件数：7,110件
- 救急車取扱件数：856件
- 救急医療を行う診療科：内科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、小児科、泌尿器科

※上記データは平成27年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成28年12月1日現在です。  
 ※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数7年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
 ※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト(REIS)をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処遇

- 研修手当（実績等による目安）：【1年次】520,000円（月額、手当・税込）、7,000,000円（年額、賞与・手当・税込）  
【2年次】600,000円（月額、手当・税込）、8,560,000円（年額、賞与・手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：福島県市町村職員共済組合
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り（病院が賃貸住宅を手配（住宅手当55,000円/月））
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】無し

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：3名
- 応募資格：平成29年度医師国家試験合格見込みの方
- 応募必要書類：(1)履歴書 (2)卒業見込み証明書 (3)研修申込書 (4)成績証明書
- 試験内容：(1)面接 (2)書類審査
- 申込締切日：平成29年9月頃の予定
- 試験実施日：平成29年5月以降随時

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1年次 2名 うち女性 0名  
2年次 1名 うち女性 0名
- 研修医の主な出身大学：横浜市立大学、岡山大学
- 当直回数：4回
- 研修修了後の進路：東北大学病院
- 後期研修プログラムの有無：無し

## ■申し込み、問い合わせ先

### 公立相馬総合病院

### 総務課

976-0011 福島県相馬市新沼字坪ヶ迫142番地  
 TEL 0244-36-5101 FAX 0244-35-5819  
 E-mail [sghjim11@bb.soma.or.jp](mailto:sghjim11@bb.soma.or.jp)

## ●当院の臨床研修の特色

- 東日本大震災から6年。福島第一原発から最も近い（23 km）臨床研修病院として、街の復興のため、院内のみでなく、地域で様々な活動をしています。病床数 230 床と、小さい病院だからこそ病院全体から丁寧に手厚い指導を受けられ、個々の目標や希望、能力に合わせた研修を柔軟に設定できます。
- プログラムは、協力型病院である亀田総合病院で3～4か月間研修を受けられます。選択科目は福島県立医科大学附属病院、諏訪中央病院（総合診療科）、福島赤十字病院、公立相馬総合病院、常磐病院での研修が可能です。また、全国各地の研修医（亀田総合病院、聖マリアンナ医科大学病院、広島大学病院、長崎大学病院、J A 広島総合病院など）が当院で地域医療研修を受けており、各地の研修医とのつながりや相互作用が生まれています。
- 平成 29 年 2 月に、本院南側に相双地方唯一の脳神経外科を有する脳卒中センターが開院し、救急医療体制がさらに充実します。

## ■プログラム紹介（参考：平成 29 年度開始プログラム） ※平成 30 年度開始プログラム変更予定あり

●プログラム名／プログラム責任者：南相馬市立総合病院卒後臨床研修プログラム／及川 友好

●研修スケジュール 募集人数 4 名

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年次	オリエンテーション	内科							救 急		選択必修	
2 年次	地域医療	選 択										

## ●協力型病院名（科目）

亀田総合病院（小児科、精神科、選択科目（リュウマチ膠原病内科、腎臓高血圧内科、糖尿病内分泌内科、血液・腫瘍内科、腫瘍内科、救命救急科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、泌尿器科、総合診療科、感染症科、リュウマチ・アレルギー内科、疼痛・緩和ケア科、心臓血管外科、形成外科、集中治療科）	
福島県立医科大学附属病院（内科、外科、救急部門、小児科、産婦人科、精神科、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、放射線科）	
諏訪中央病院（総合診療科）	福島赤十字病院（内科、整形外科、産婦人科）
公立相馬総合病院（小児科、泌尿器科）	常磐病院（泌尿器科、腎臓内科）

## ●協力施設

ひぐちクリニック	こいずみクリニック	相馬中央病院
福島県立宮下病院	福島県立南会津病院	只見町国民健康保険朝日診療所

## ■教育体制

- 4 月は、当院オリエンテーションの他に、福島県臨床研修病院新臨床研修医合同オリエンテーションに参加します。
- 当直時の救急症例経験のカンファレンスを週 1 回実施しています。
- 研修医のための勉強会（ミニレクチャー）を実施しています。
- 学会発表の機会があります。
- 院内研究発表会があります。
- 各研修科修了後、研修会議を開きフィードバックの場としています。

## ■メッセージ

### ●指導医から一言

「医学的知識と技術の習得」、「医療人として人格形成」そして「復興医療支援への参加」が当院での研修目標である。研修医一人が受け持つ症例数は大病院と比較しても遜色なく、症例検討会、抄読会、院内発表、論文作成に加え、被災地医療にまで参加することが可能なため、研修医が学ぶべき内容は他院に比べ非常に広い。震災後は全国から志を持った研修医が集まり、地域復興を後押ししている。また、亀田総合病院をはじめ、広島大学、長崎大学、福島県立医科大学などから地域医療枠を用いた短期間の研修医も加わり、研修医間での意見交換も活発であり、気さくな指導医、上級医がそれに加わる。知識、技術を身につけるのみならず、復興支援に関わることで医療と社会の関わりを学び得る全国でも数少ない研修病院と考えている。

### ●先輩研修医から一言

当院の研修を一言で表すと「良い意味で特殊な環境」です。その特殊性を3点紹介いたします。1点目は、当院は被災地にあり福島第一原発に最も近い臨床研修病院です。実際に生活し住民と交流することで得られる生きた情報・経験は、医療者としての幅を広げるきっかけとなります。2点目は、震災後多様なバックグラウンドを持つ医師やメディカルスタッフが全国から集まり、脳卒中センターの開院後、ハード・ソフト両面で非常に充実した環境になった中、指導医・上級医と近い距離感で、手技の機会に事欠かない研修を行います。3点目は、研修プログラムは柔軟性があり、当院での研修の他、福島医大附属病院、亀田総合病院や諏訪中央病院などの民間病院でも研修でき、研修医のニーズに限りなく対応した研修が可能です。これは全国的にも非常に珍しいシステムといえます。他とは違うオリジナルな研修ができることに興味がある方は、是非とも病院見学にいらしてください。

## ■病院理念

南相馬市立総合病院は、市民の健康を守り、かけがえのない生命の尊厳と人間愛を基本として患者との相互理解に基づき市民が健康で生き生きとして、幸せに暮らせる環境づくりをめざしています。

## ■診療内容

- 診療の特徴、実績  
地域の 2 次救急医療機関としての救急医療の提供。さらに、W B C を用いた内部被ばく検診や、在宅診療部による仮設住宅に住む市民や独居老人等の健康管理を行っております。

### ●診療科・医師数

診療科名	内科	循環器科	消化器科	呼吸器科	神経内科	外科	整形外科	脳神経外科	産婦人科	小児科	麻酔科	放射線科	合計
医 師 数	2	3	2	1	1	4	2	4	1	1	2	1	24
指導医数	1	2	1	1	1	2	0	3	1	1	1	0	14

- 許可病床数：230 床（一般 230 床）
- 入院患者数（1 日平均）：132.6 名
- 外来患者数（1 日平均）：308.2 名
- 平均在院日数（一般病床）：17.5 日
- 分娩件数：216 件
- 救急医療の提供実績：相馬地方における休日・夜間の初期救急医療の後方救急医療体制を図るため相馬地方病院群に参加。また、当直医の専門外の患者が来院した場合には、小児科・泌尿器科を除くオンコール体制をとっており、24 時間体制で呼び出しに応じています。

- 医療法上の位置づけ：2 次医療機関
  - 救急取扱件数：6,327 名
  - 救急車取扱件数：1,311 名
  - 救急医療を行う診療科：内科、外科、脳神経外科、産婦人科、循環器科、消化器科、呼吸器科、神経内科
- ※上記データは平成 27 年度の実績です。また許可病床数、医師数、指導医数及び病床数は平成 28 年 12 月 1 日現在です。  
※「指導医数」は「医師数」のうち臨床経験年数 7 年以上で、指導医講習会受講済みである医師の数です。  
※診療内容に関するその他のデータについては、臨床研修プログラム検索サイト (REIS) をご参照下さい。【<http://www.reisjp.org/common/ad0.php>】

## ■処 遇

- 研修手当 ※実績等による目安：【1 年次】662,500 円（月額、手当・税込）、7,950,000 円（年額、手当・税込）  
【2 年次】728,750 円（月額、手当・税込）、8,745,000 円（年額、手当・税込）
- 研修医に対する各種保険等の適用：全国健康保険協会健康保険、厚生年金、雇用保険、労働災害補償保険
- 医師賠償責任保険の扱い：【病院加入】有り 【個人加入】任意
- 宿舍の有無：有り（民間 借上げ）
- 出産育児等の支援体制：【院内保育園の有無】平成 30 年 4 月院内保育所開所予定

※実際に支給される額は各種手当等の変動により個人差があります。詳しくは、各施設担当者にお問い合わせ下さい。

## ■研修医募集・応募方法・試験概要

- 募集予定人数：4 名
- 応募資格：平成 30 年 3 月医師免許取得見込みの方、もしくは医師免許を有し臨床研修を修了していない方で、マッチング登録済の方
- 応募必要書類：(1) 履歴書 (2) 卒業見込証明書または卒業証明書 (3) 成績証明書
- 試験内容：(1) 面接 (2) 書類審査
- 申込締切日：平成 29 年 9 月 30 日頃の予定
- 試験実施日：平成 29 年 8 月から 9 月の予定

## ■現在の研修状況と進路

- 研修中的人数：1 年次 3 名 うち女性 0 名  
2 年次 4 名 うち女性 1 名
- 研修医の主な出身大学：杏林大学、東京慈恵会医科大学、滋賀医科大学、九州大学、千葉大学、奈良県立医科大学、東京大学
- 当直回数（月平均）：4 回（1 年次 副直（17：00～23：00）8 月開始、2 年次 当直（翌朝まで）指導医は院内待機）
- 研修修了後の進路：南相馬市立総合病院、在横田米国空軍病院
- 後期研修プログラムの有無：有り（脳神経外科）

## ■申し込み、問い合わせ先

南相馬市立総合病院 795-0033 福島県南相馬市原町区高見町二丁目 54-6  
 事務課総務係研修担当 TEL 0244-22-3181(内 1202) FAX 0244-22-8853  
 E-mail [sogo-hp-jimu@city.minamisoma.lg.jp](mailto:sogo-hp-jimu@city.minamisoma.lg.jp)